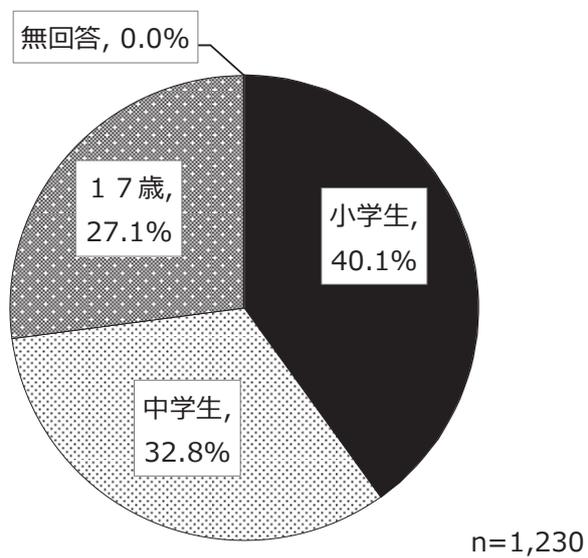


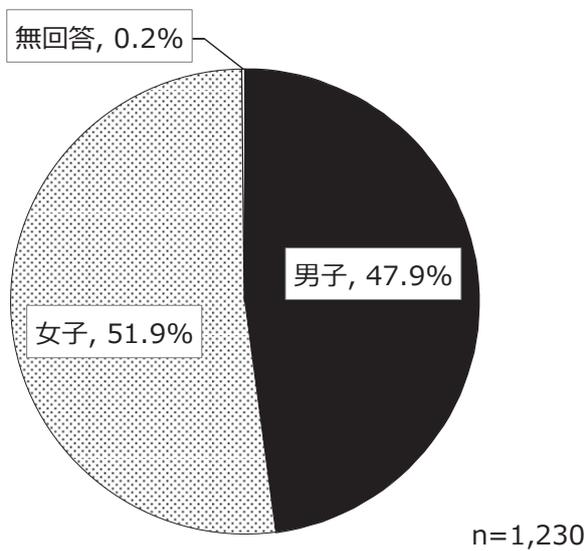
IV 子ども調査の結果

1 属性

(1) 年齢



(2) 性別



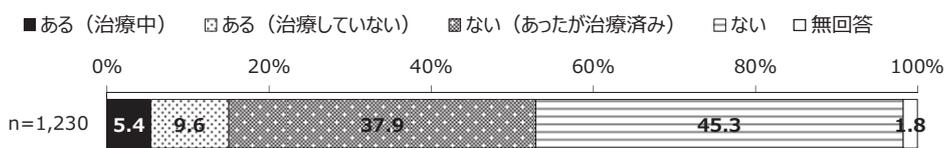
2 生活習慣の状況

問7 (小中学生・17歳)

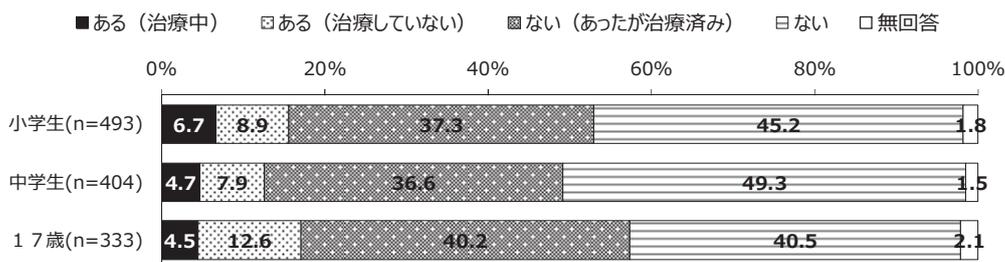
あなたは、現在むし歯がありますか。

むし歯の有無について、『ある』(「ある(治療中)」と「ある(治療していない)」を合わせた割合)と回答した割合は全体で15.0%、小学生で15.6%、中学生で12.6%、17歳で17.1%となっている。生活困難層の分類別にみると、『ある』と回答した割合は困難度が高いほど高くなっている。世帯類型別にみると、『ある』と回答した割合は母子世帯で高くなっている。

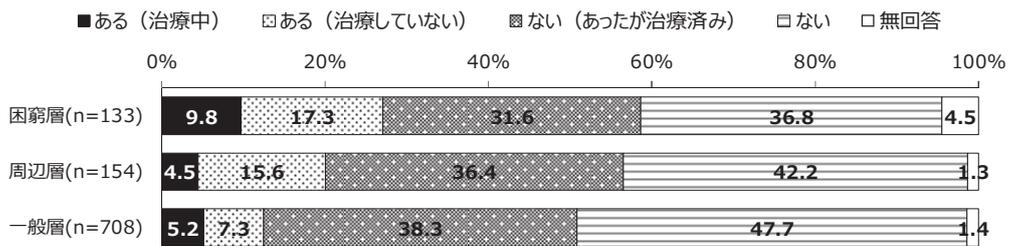
【むし歯の有無】



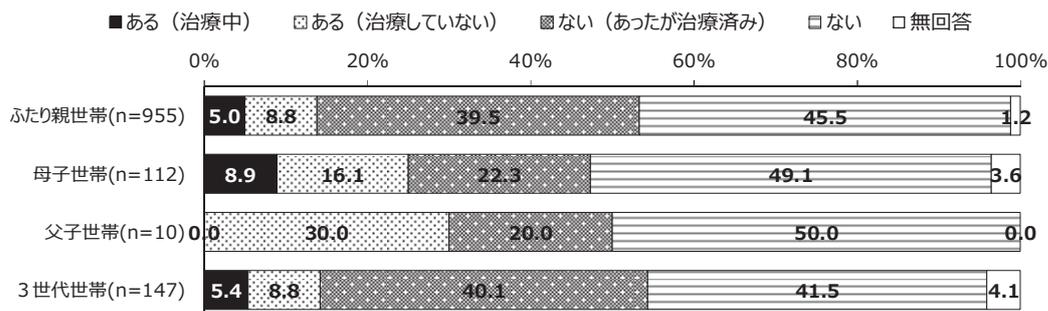
(就学状況別)



(生活困難層の分類別)



(世帯類型別)



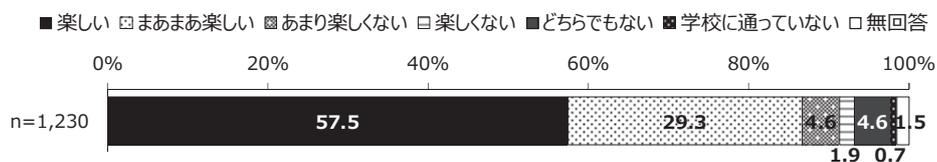
3 学校生活の状況

問8 (小中学生・17歳)

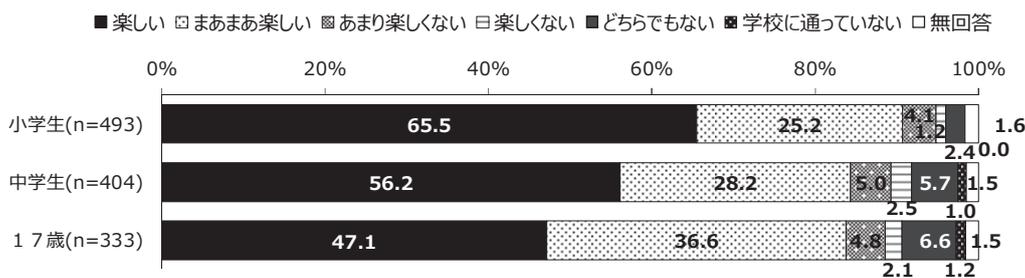
あなたは、今の学校での生活が楽しいですか。

学校生活が楽しいかについて、『楽しい』（「楽しい」と「まあまあ楽しい」を合わせた割合）と回答した割合は全体で86.8%、小学生で90.7%、中学生で84.4%、17歳で83.7%となっている。生活困難層の分類別にみると、『楽しい』と回答した割合は困窮層で79.7%と低くなっている。世帯類型別にみると、『楽しい』と回答した割合は母子世帯で77.7%と低くなっている。

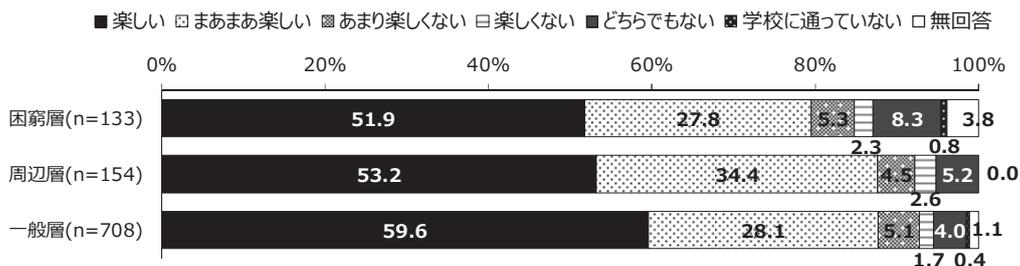
【学校生活は楽しいか】



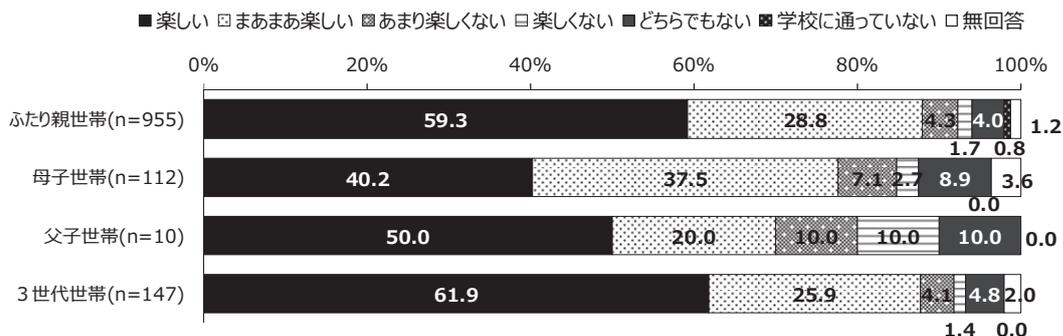
(就学状況別)



(生活困難層の分類別)



(世帯類型別)



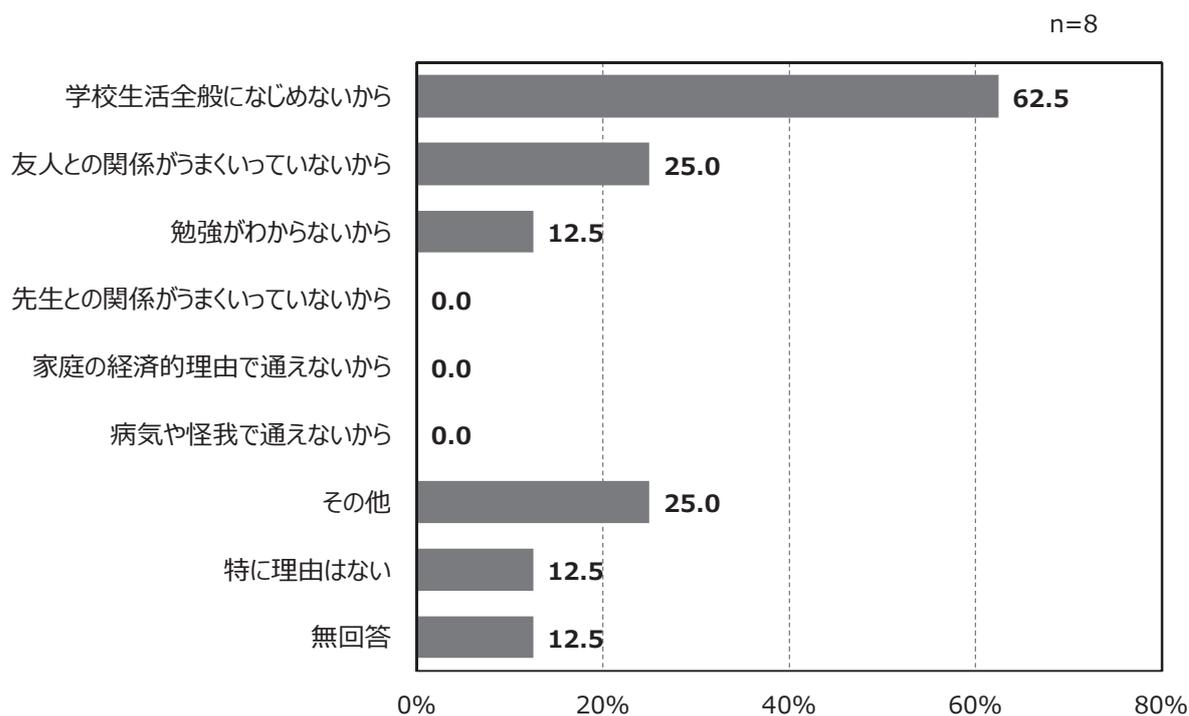
問 8-1 (小中学生・17 歳)

学校に通っていないのは、なぜですか。(複数回答可)

※回答者は、学校での生活が楽しいかの問いに「学校に通ってない」と回答した小中学生・17 歳。

学校に通っていない理由について、「学校生活全般になじめないから」、「友人との関係がうまくいっていないから」といった回答があがっている。

【学校に通っていない理由】



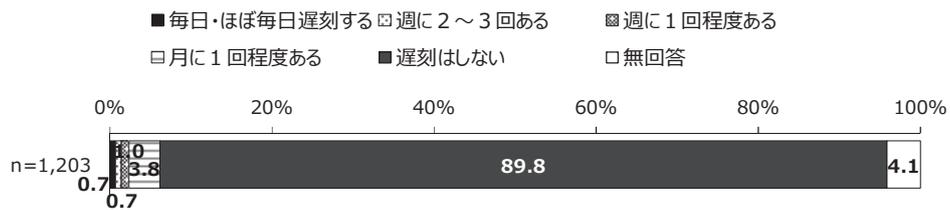
問9 (小中学生・17歳)

あなたは、通っている学校などに遅刻することがありますか。

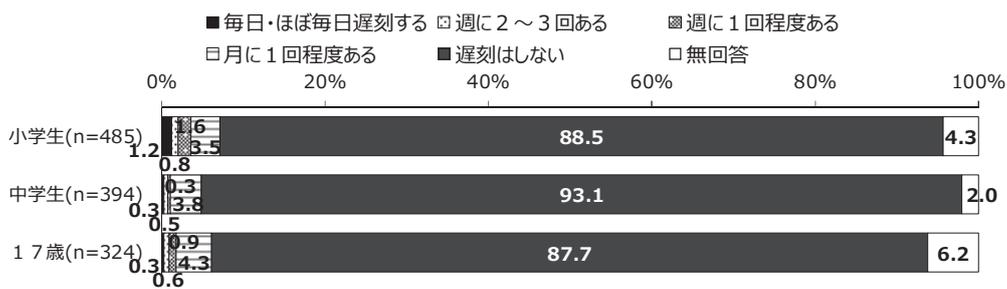
学校に遅刻する頻度について、「遅刻はしない」と回答した割合は全体で89.8%、小学生で88.5%、中学生で93.1%、17歳で87.7%となっている。

生活困難層の分類別にみると、「遅刻はしない」と回答した割合は困窮層で81.1%と低くなっている。

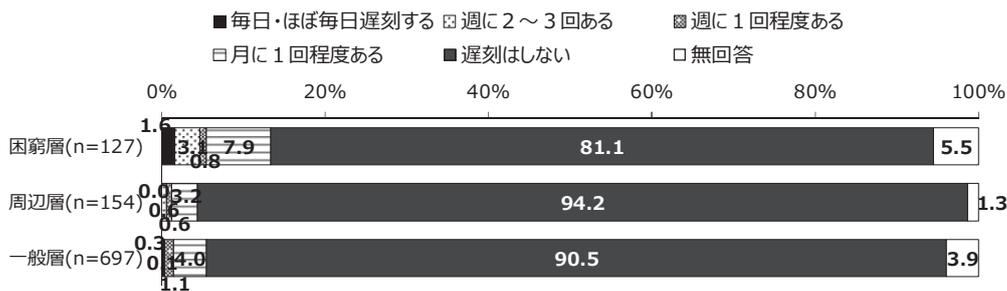
【学校に遅刻する頻度】



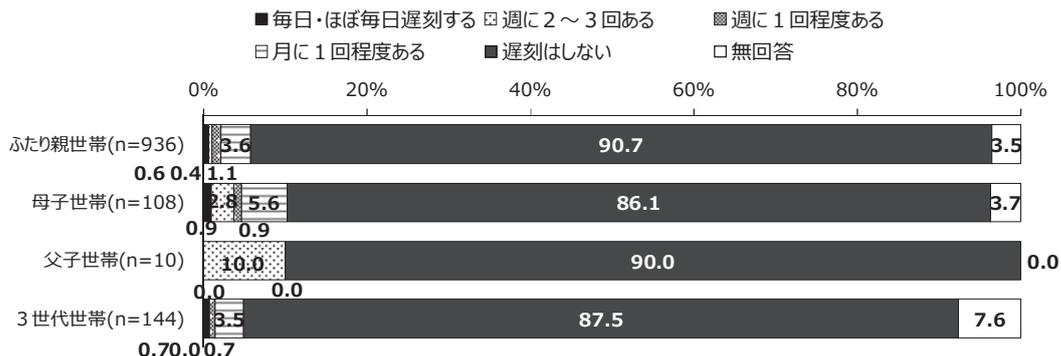
(就学状況別)



(生活困難層の分類別)



(世帯類型別)

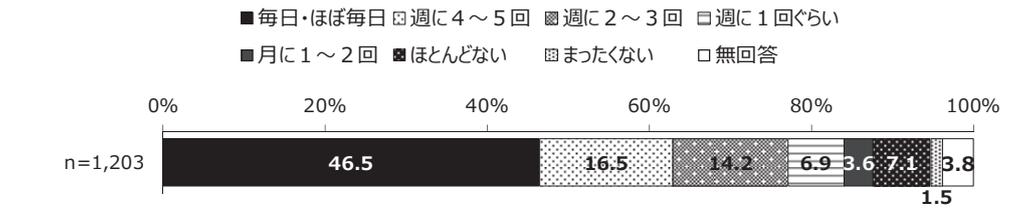


問 10 (小中学生・17歳)

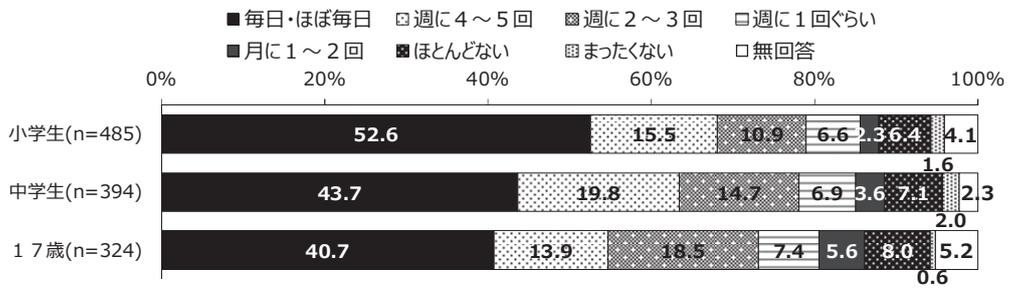
あなたは、おうちの大人の人に学校のできごとを話すことがどれくらいありますか。

家の大人に学校のできごとを話す頻度について、「毎日・ほぼ毎日」と回答した割合は全体で 46.5%、小学生で 52.6%、中学生で 43.7%、17歳で 40.7%となっている。

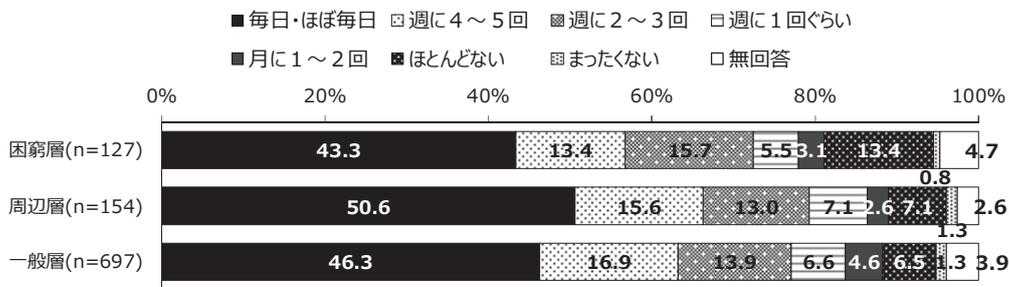
【家の大人に学校のできごとを話す頻度】



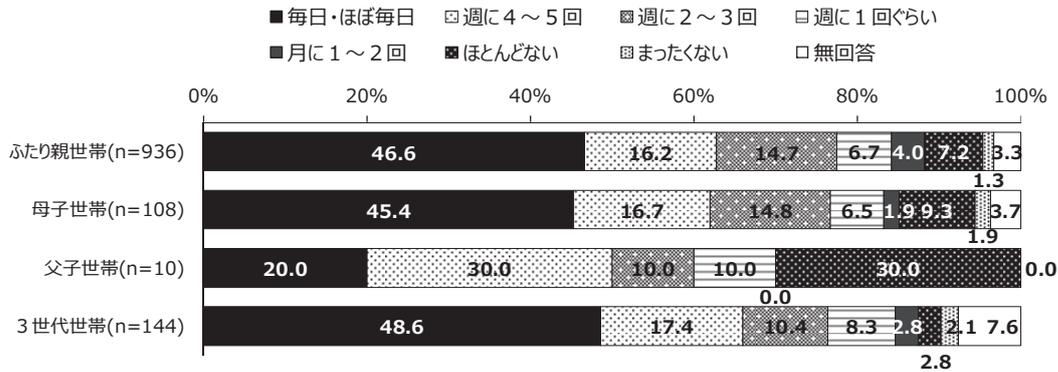
(就学状況別)



(生活困難層の分類別)



(世帯類型別)



4 勉強の状況

問 11 (小中学生・17歳)

あなたは、学校がある日、授業時間以外に1日あたりどれくらい勉強をしますか。
(塾などの時間も含む)

学校がある日の1日あたりの勉強時間について、「まったくしない」と回答した割合は全体で8.5%、小学生で2.5%、中学生で4.8%、17歳で21.9%となっている。

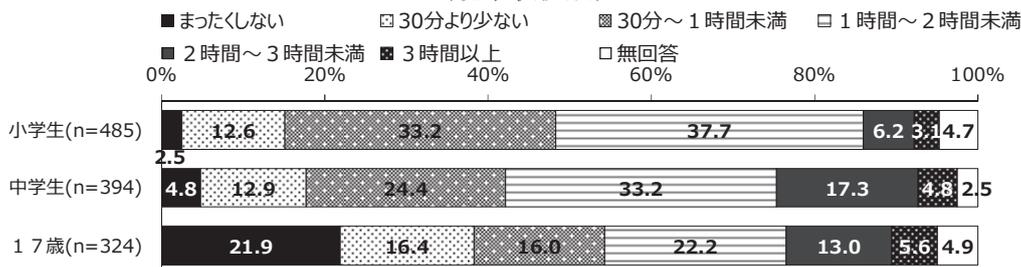
生活困難度の分類別にみると、「まったくしない」と回答した割合は困窮層で19.7%と高くなっている。

世帯類型別にみると、「まったくしない」と回答した割合は母子世帯で15.7%と高くなっている。

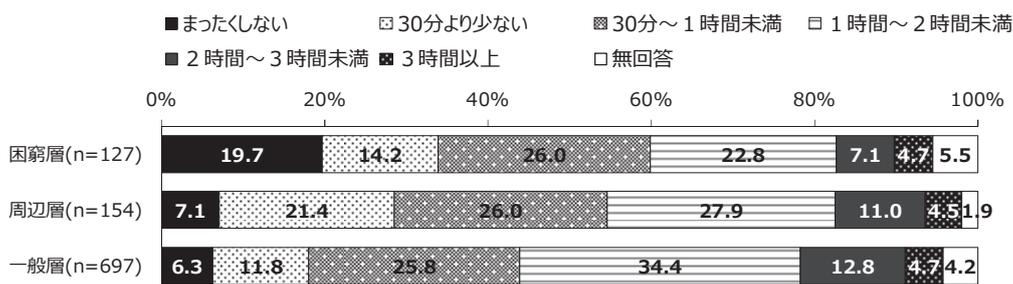
【学校がある日の1日あたりの勉強時間】



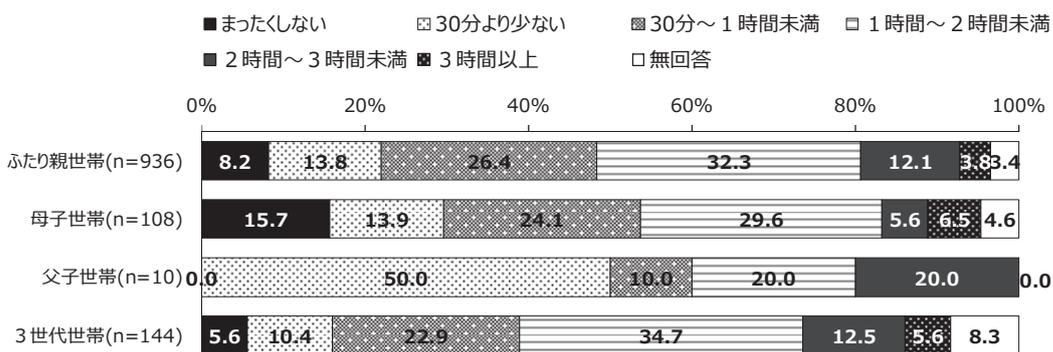
(就学状況別)



(生活困難層の分類別)



(世帯類型別)



問 12 (小中学生・17歳)

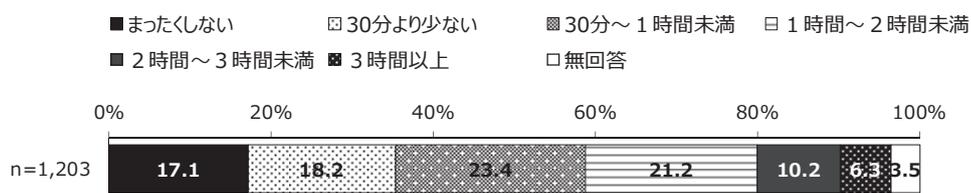
あなたは、学校がない日、1日あたりどれくらい勉強をしますか。(塾などの時間も含む)

学校がない日の1日あたりの勉強時間について、「まったくしない」と回答した割合は全体で17.1%、小学生で13.6%、中学生で12.2%、17歳で28.4%となっている。

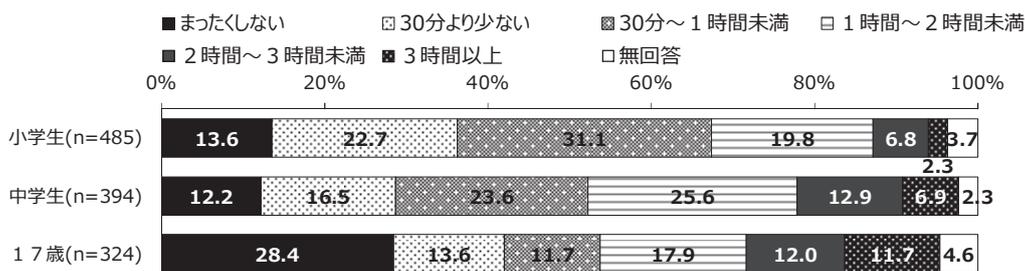
生活困難層の分類別にみると、「まったくしない」と回答した割合は困窮層で32.3%と高くなっている。

世帯類型別にみると、「まったくしない」と回答した割合は母子家庭で25.0%と高くなっている。

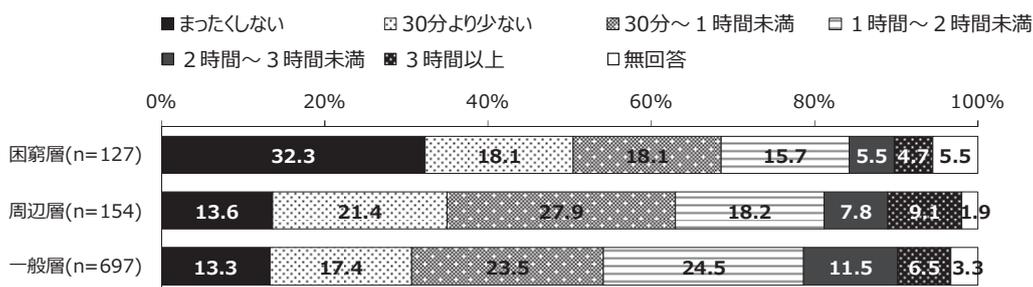
【学校がない日の1日あたりの勉強時間】



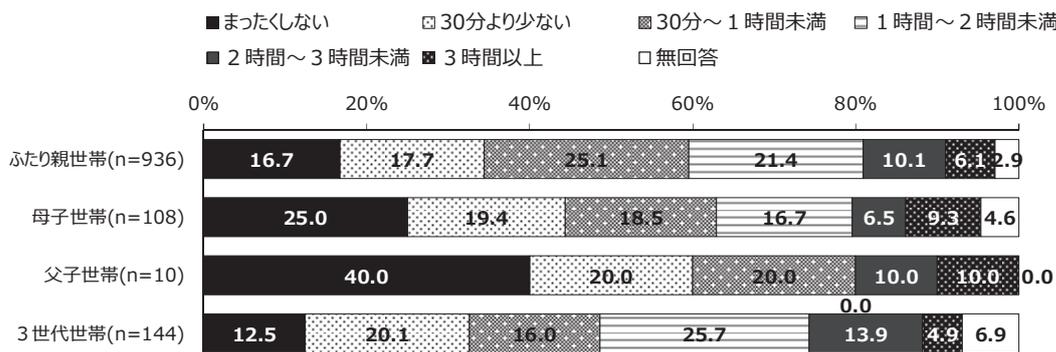
(就学状況別)



(生活困難層の分類別)



(世帯類型別)



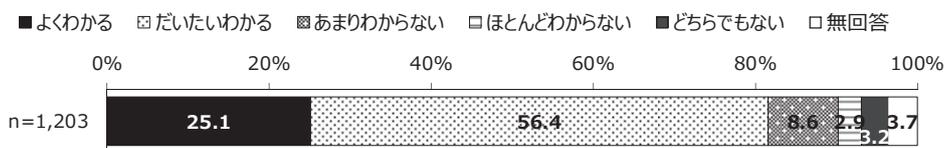
問 13 (小中学生・17歳)

あなたは、学校の勉強がわかりますか。一番あなたの気持ちに近いものを教えてください。

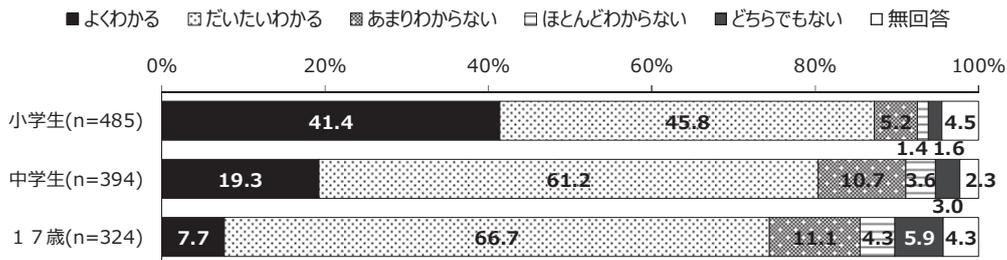
学校の勉強の理解度について、『わかる』(「よくわかる」と「だいたいわかる」を合わせた割合)と回答した割合は全体で81.5%、小学生で87.2%、中学生で80.5%、17歳で74.4%となっている。生活困難層の分類別にみると、『わかる』と回答した割合は困難度が高いほど低くなっており、困窮層では74.0%となっている。

世帯類型別にみると、『わかる』と回答した割合は母子世帯で75.9%となっている。

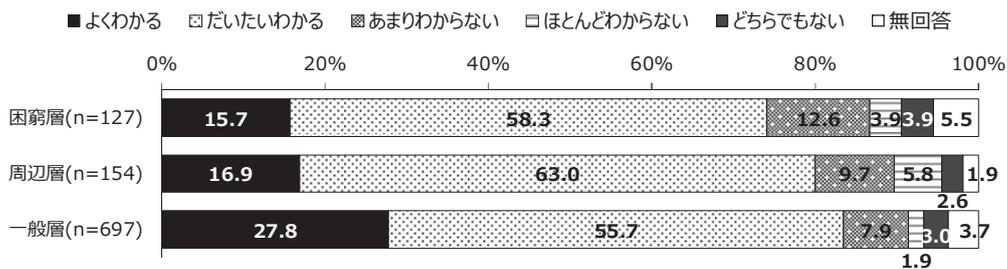
【学校の勉強の理解度】



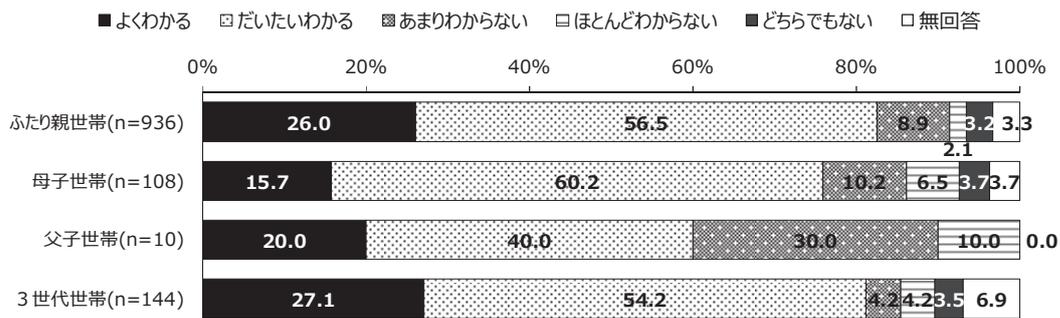
(就学状況別)



(生活困難層の分類別)



(世帯類型別)



問 14 (小中学生・17歳)

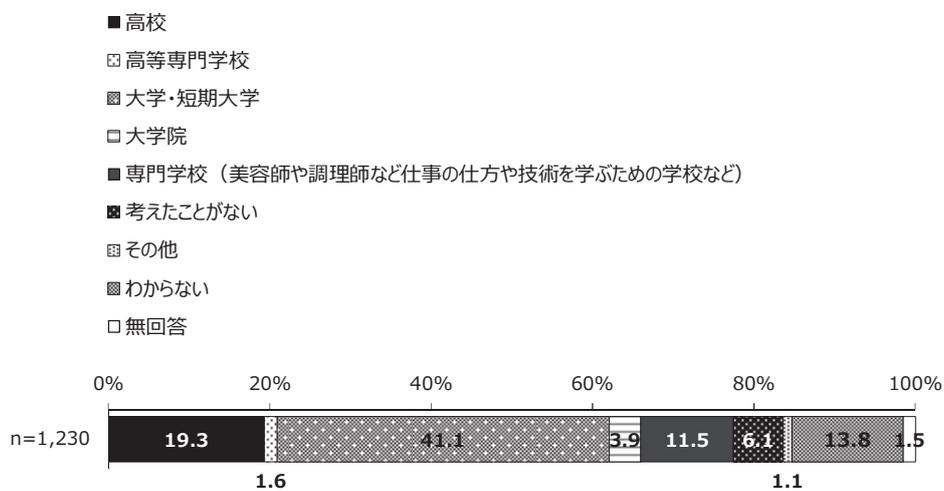
あなたは、将来どの学校まで行きたいと思いますか。(行っている場合を含みます。)

希望する最終学歴について、「大学・短期大学」と回答した割合は全体で 41.1%、小学生で 32.3%、中学生で 43.8%、17歳で 51.1%となっている。

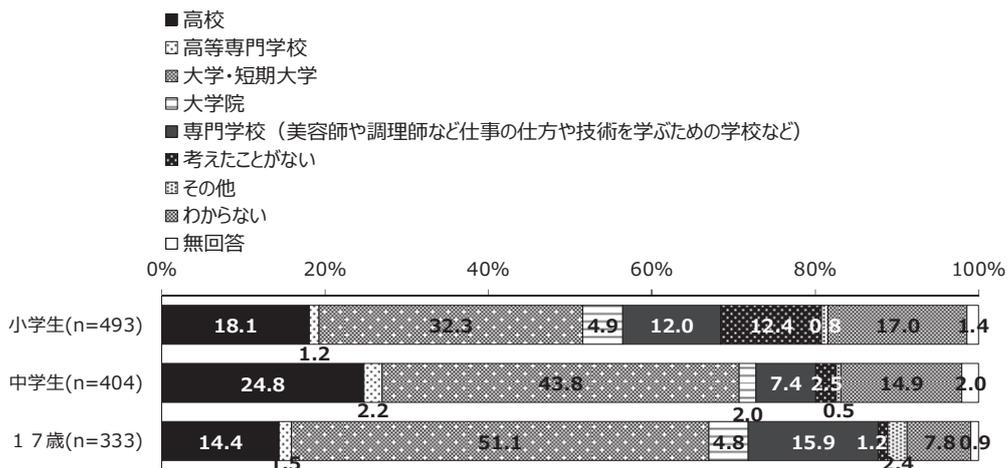
生活困難層の分類別にみると、「大学・短期大学」と回答した割合は困難度が高いほど低くなっており、困窮層では 26.3%となっている。

世帯類型別にみると、「大学・短期大学」と回答した割合は母子世帯で 34.8%となっている。

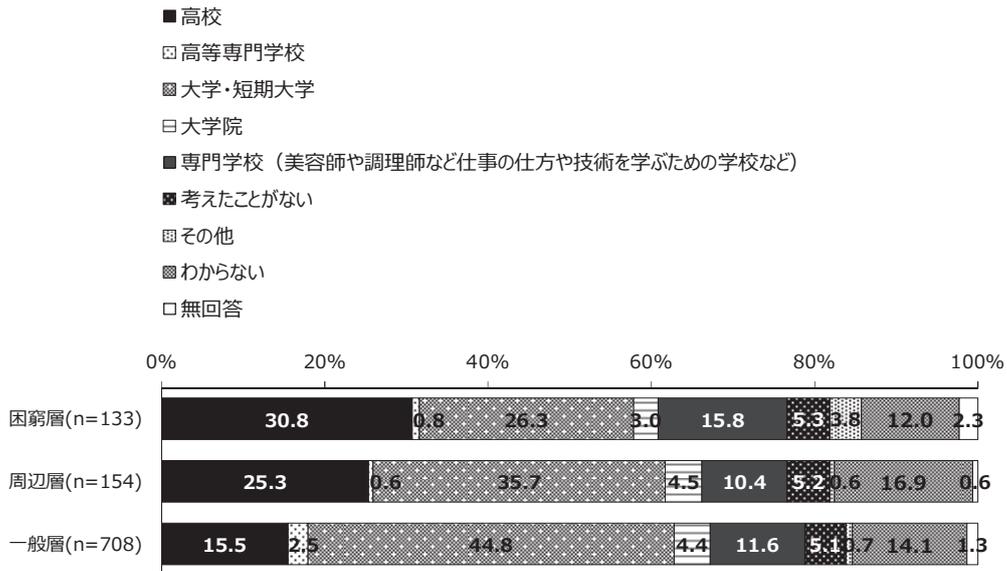
【希望する最終学歴】



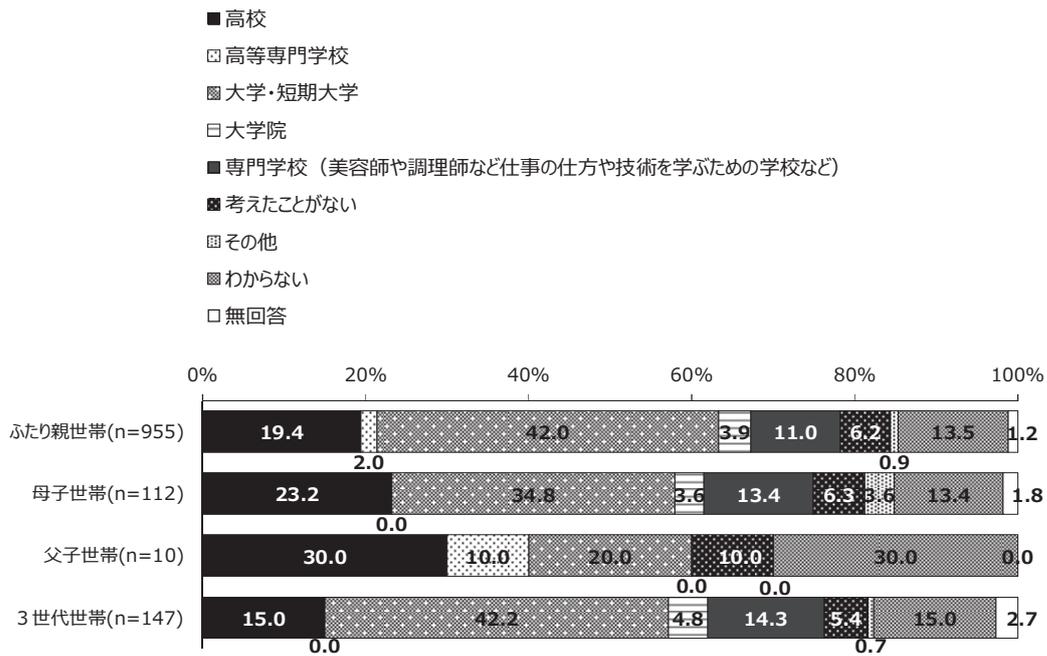
(就学状況別)



(生活困難層の分類別)



(世帯類型別)



5 悩みの状況

問 15 (小中学生・17歳)

今、あなたは、いやなことや悩んでいることがありますか。(複数回答可)

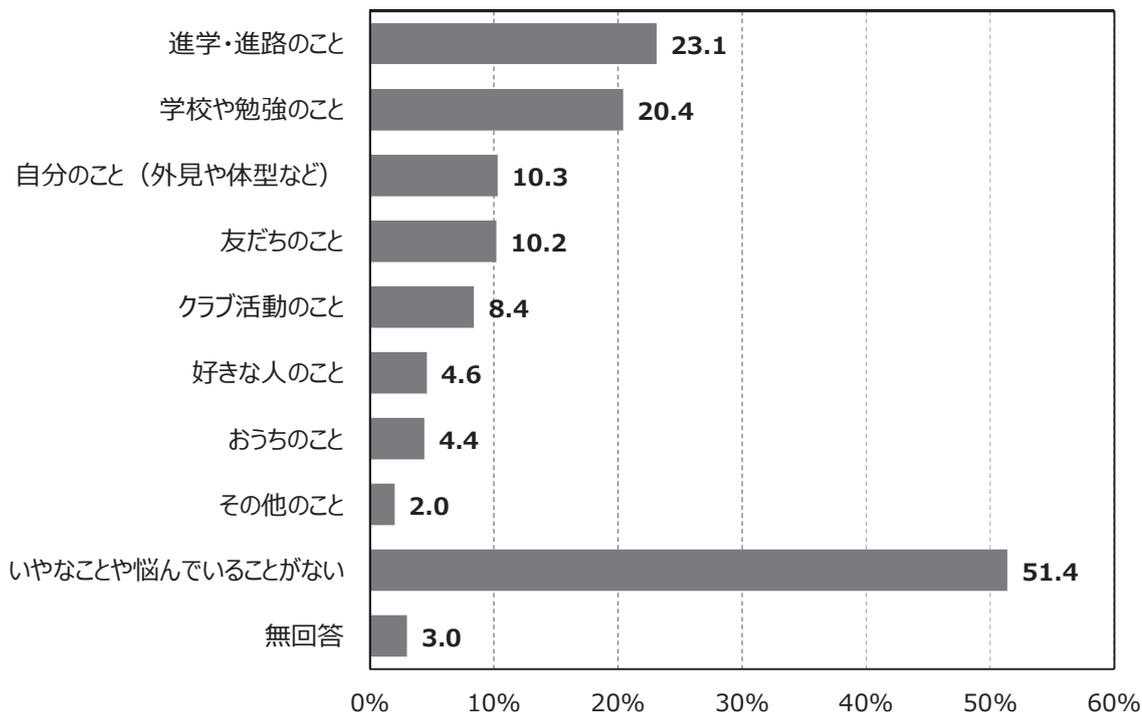
いやなことや悩んでいることについて、小学生では「学校や勉強のこと」、「自分のこと(外見や体型など)」、「友だちのこと」と回答した割合が1割前後、中学生では「進学・進路のこと」、「学校や勉強のこと」と回答した割合が26.2%と同率、17歳では「進学・進路のこと」と回答した割合が44.7%と高くなっている。また、「いやなことや悩んでいることがない」と回答した割合は全体で51.4%、小学生で64.7%、中学生で49.3%、17歳で34.2%となっている。

生活困難層の分類別にみると、「進学・進路のこと」と回答した割合は困難度が高いほど高くなっている。また、「いやなことや悩んでいることがない」と回答した割合は困窮層で39.1%と低くなっている。

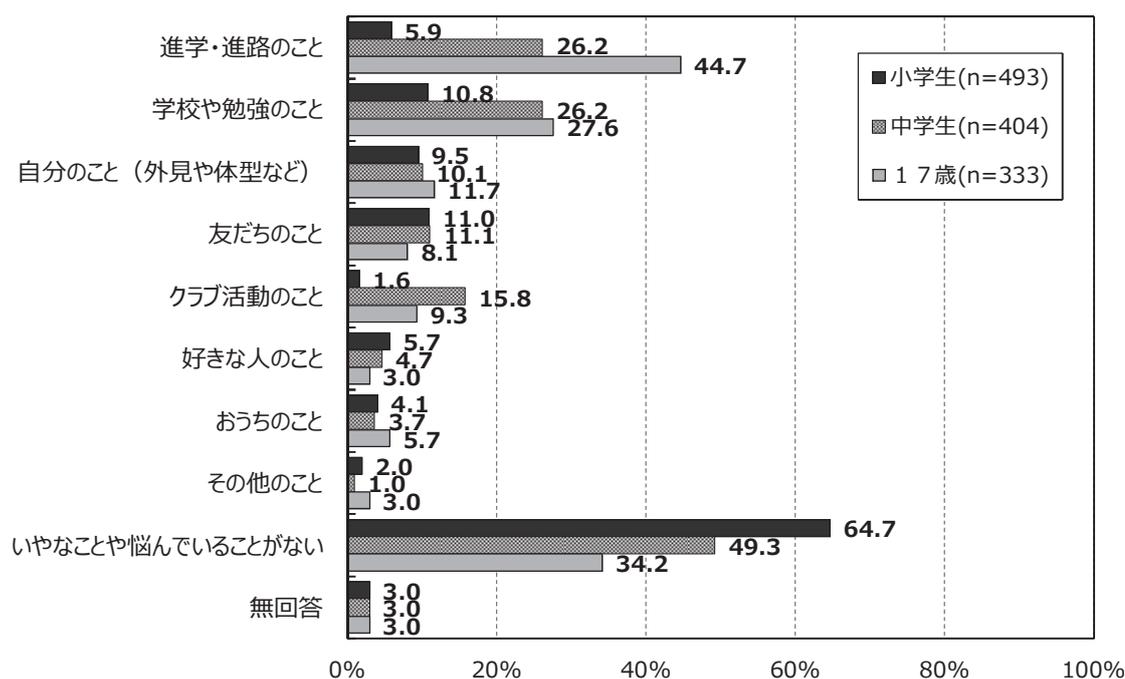
世帯類型別にみると、「進学・進路のこと」と回答した割合は母子世帯で高くなっている。また、「いやなことや悩んでいることがない」と回答した割合は母子世帯で37.5%と低くなっている。

【いやなことや悩んでいること】

n=1,230



(就学状況別)



(生活困難層の分類別)

	回答数	進学・進路のこと	学校や勉強のこと	自分のこと (外見や体型など)	友だちのこと	クラブ活動のこと	好きな人のこと	おうちのこと	その他のこと
困窮層	133	31.6%	27.1%	9.8%	12.0%	9.8%	6.8%	8.3%	3.8%
周辺層	154	28.6%	20.1%	11.0%	11.7%	11.0%	3.9%	3.2%	1.9%
一般層	708	22.3%	20.3%	10.3%	10.3%	8.8%	3.2%	3.7%	1.4%

	回答数	いやなことや悩んでいることがない	無回答
困窮層	133	39.1%	4.5%
周辺層	154	48.1%	0.6%
一般層	708	52.8%	3.1%

(世帯類型別)

	回答数	進学・進路のこと	学校や勉強のこと	自分のこと (外見や体型など)	友だちのこと	クラブ活動のこと	好きな人のこと	おうちのこと	その他のこと
ふたり親世帯	955	21.9%	19.4%	10.1%	10.4%	8.0%	4.4%	3.7%	2.2%
母子世帯	112	31.3%	27.7%	11.6%	9.8%	11.6%	5.4%	8.9%	1.8%
父子世帯	10	10.0%	30.0%	20.0%	10.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%
3世代世帯	147	24.5%	19.7%	10.2%	8.8%	7.5%	4.8%	3.4%	0.0%

	回答数	いやなことや悩んでいることがない	無回答
ふたり親世帯	955	52.9%	2.8%
母子世帯	112	37.5%	4.5%
父子世帯	10	20.0%	10.0%
3世代世帯	147	55.8%	2.7%

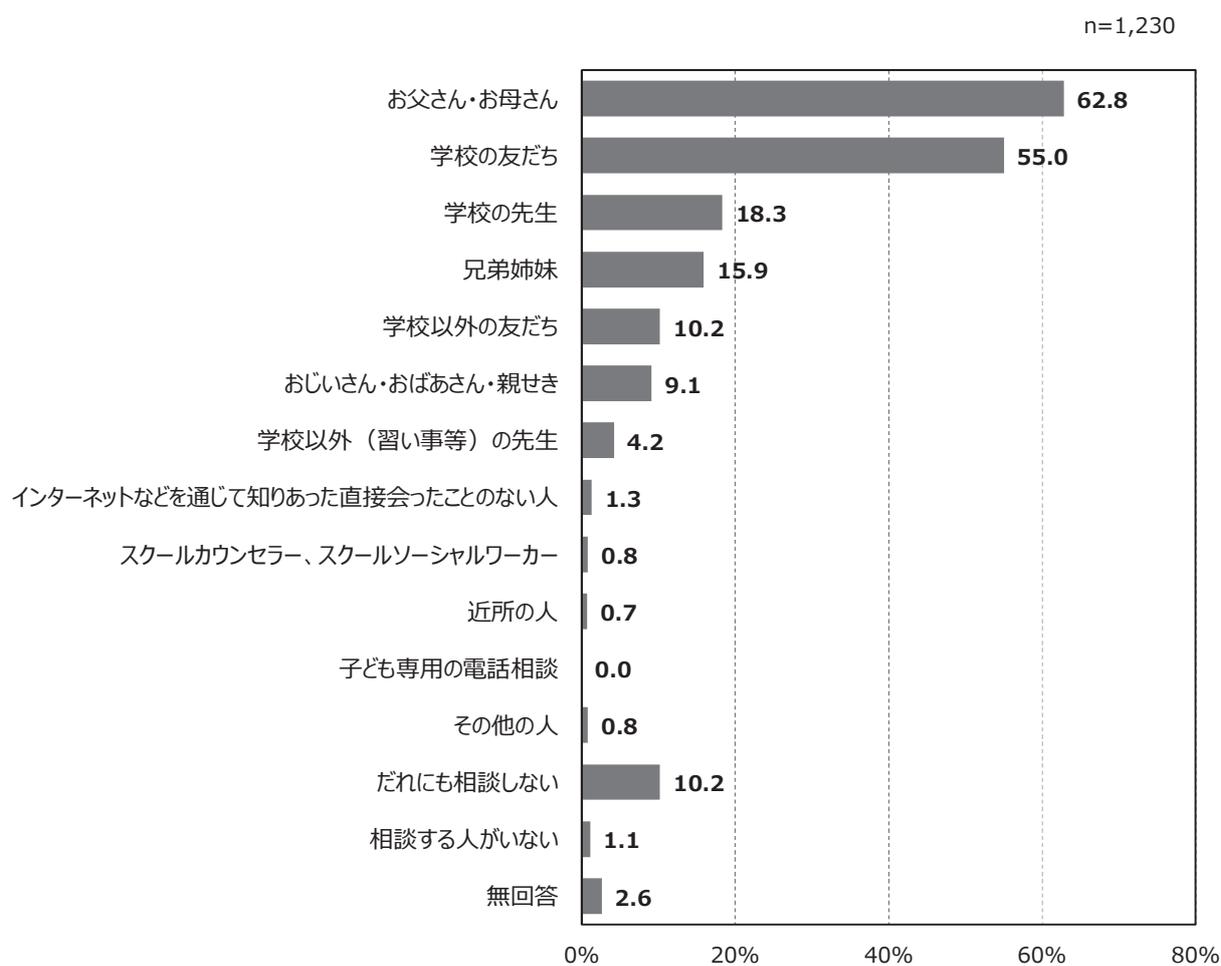
問 16 (小中学生・17歳)

あなたは、いやなことや悩んでいることがあるとき、だれに相談しますか。(複数回答可)

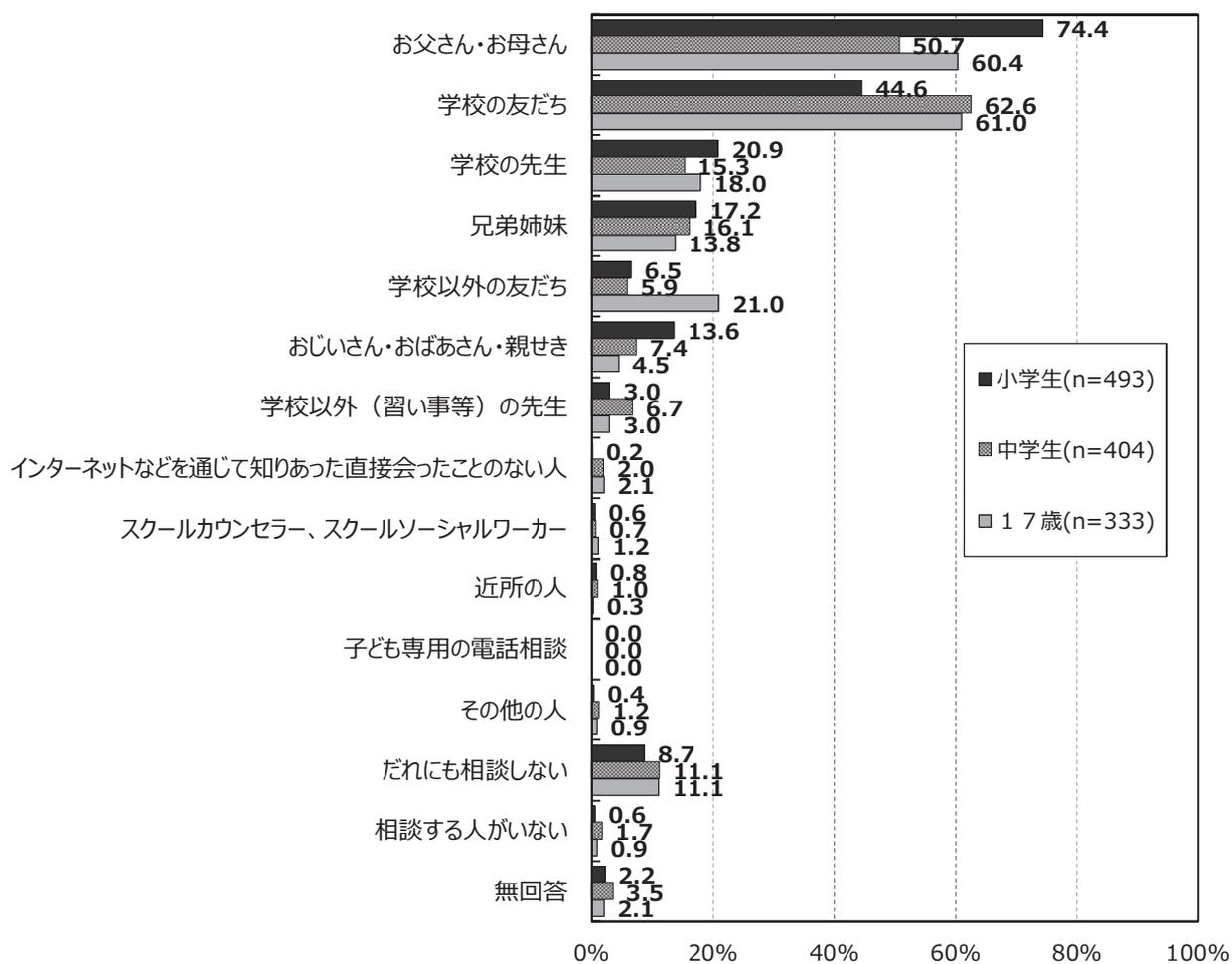
いやなことや悩みの相談相手について、「お父さん・お母さん」と回答した割合が最も高く、全体で62.8%、小学生で74.4%、中学生で50.7%、17歳で60.4%となっている。

生活困難層の分類別にみると、「お父さん・お母さん」と回答した割合は困窮層で56.4%と若干低くなっている。

【いやなことや悩みの相談相手】



(就学状況別)



(生活困難層の分類別)

	回答数	お父さん・お母さん	学校の友だち	学校の先生	兄弟姉妹	学校以外の友だち	おじいさん・おばあさん・親せき	学校以外（習い事等）の先生	インターネットなどを通じて知りあった直接会ったことのない人
困窮層	133	56.4%	48.1%	21.1%	15.8%	11.3%	4.5%	3.8%	0.8%
周辺層	154	63.6%	57.1%	20.1%	14.9%	8.4%	9.7%	4.5%	0.6%
一般層	708	63.1%	56.5%	17.9%	15.3%	10.9%	9.0%	4.0%	1.6%

	回答数	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー	近所の人	子ども専用の電話相談	その他の人	だれにも相談しない	相談する人がいない	無回答
困窮層	133	0.8%	0.8%	0.0%	1.5%	14.3%	0.8%	4.5%
周辺層	154	0.6%	1.9%	0.0%	0.6%	12.3%	0.6%	0.6%
一般層	708	1.0%	0.3%	0.0%	0.7%	9.5%	1.1%	2.4%

(世帯類型別)

	回答数	お父さん・お母さん	学校の友だち	学校の先生	兄弟姉妹	学校以外の友だち	おじいさん・おばあさん・親せき	学校以外(習い事等)の先生	インターネットなどを通じて知りあった直接会ったことのない人
ふたり親世帯	955	63.9%	56.5%	19.3%	16.0%	10.9%	7.5%	4.3%	1.2%
母子世帯	112	58.9%	44.6%	18.8%	14.3%	8.0%	8.0%	5.4%	1.8%
父子世帯	10	40.0%	70.0%	0.0%	0.0%	20.0%	30.0%	0.0%	0.0%
3世代世帯	147	61.2%	52.4%	13.6%	18.4%	7.5%	19.0%	2.7%	2.0%

	回答数	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー	近所の人	子ども専用の電話相談	その他の人	だれにも相談しない	相談する人がいない	無回答
ふたり親世帯	955	0.7%	0.7%	0.0%	0.8%	9.6%	1.0%	2.0%
母子世帯	112	0.9%	1.8%	0.0%	0.9%	14.3%	1.8%	4.5%
父子世帯	10	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	10.0%
3世代世帯	147	1.4%	0.0%	0.0%	0.7%	10.9%	0.0%	4.1%

6 人付き合いの状況

問 17 (小中学生・17歳)

あなたには、次のような友だちが周りにいますか。(複数回答可)

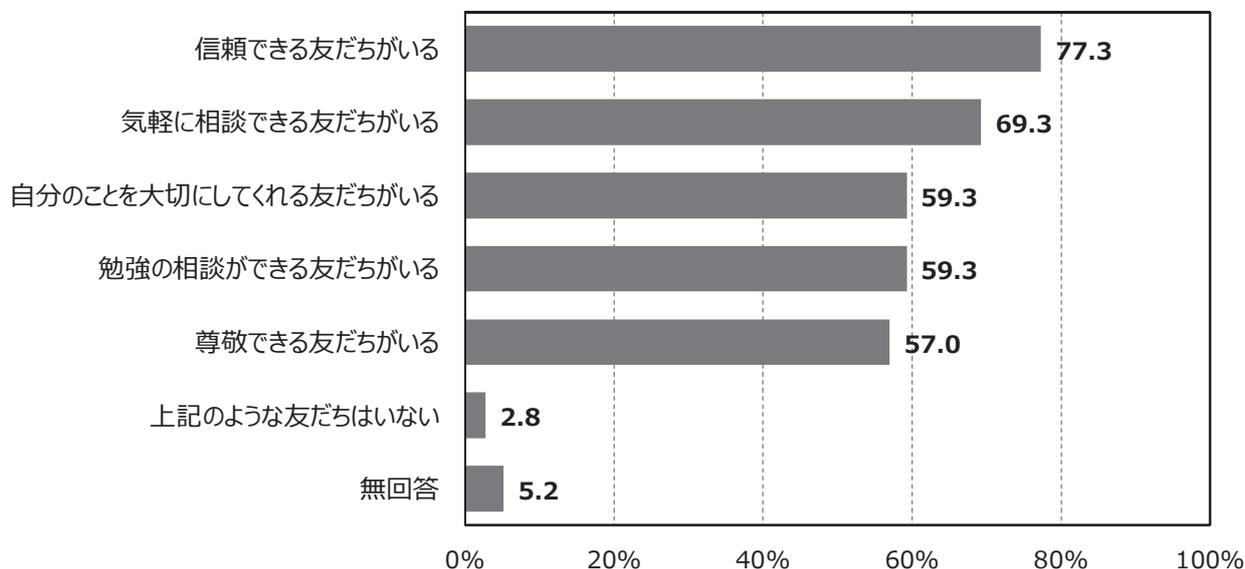
周りにいる友だちについて、「信頼できる友だちがいる」と回答した割合は77.3%、「気軽に相談できる友だちがいる」が69.3%となっている。

生活困難層の分類別にみると、困窮層では「信頼できる友だちがいる」と回答した割合は66.9%、「気軽に相談できる友だちがいる」が62.4%と若干低くなっている。

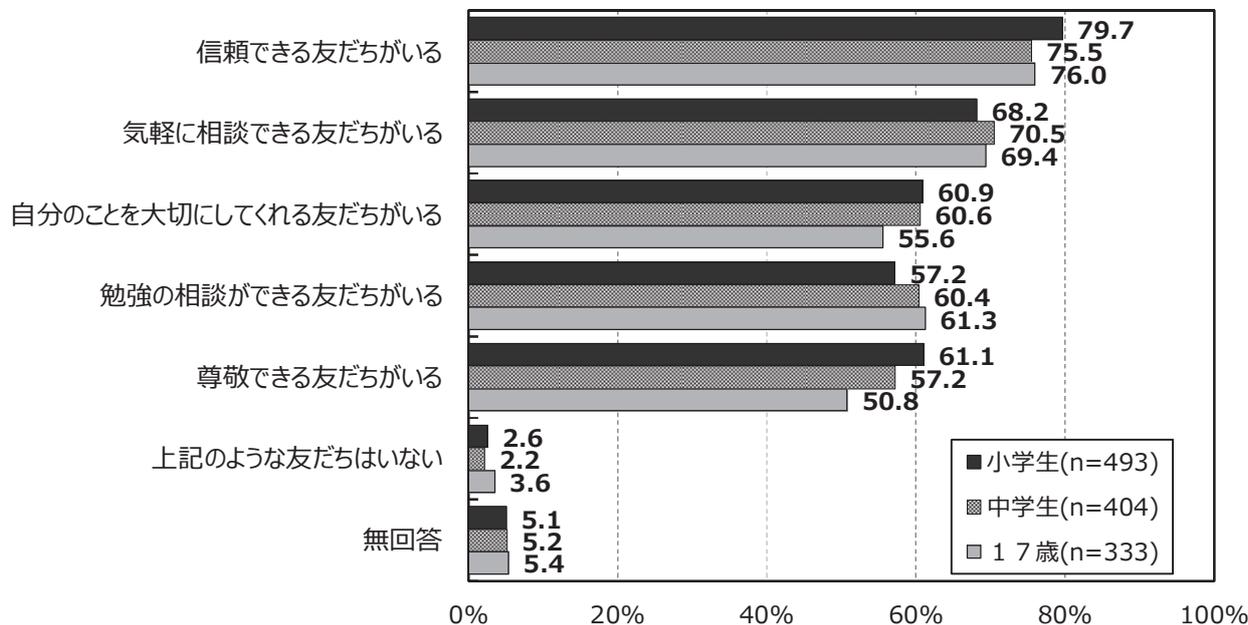
世帯類型別にみると、「信頼できる友だちがいる」と回答した割合は母子世帯で低くなっており、69.6%となっている。

【周りにいる友だち】

n=1,230



(就学状況別)



(生活困難層の分類別)

	回答数	信頼できる 友だちがい る	気軽に相談 できる友だ ちがいる	自分のこと を大切にし てくれる友 だちがいる	勉強の相談 ができる友 だちがいる	尊敬できる 友だちがい る	上記のよう な友だちは いない	無回答
困窮層	133	66.9%	62.4%	43.6%	46.6%	48.1%	3.8%	7.5%
周辺層	154	75.3%	66.9%	54.5%	60.4%	54.5%	4.5%	7.1%
一般層	708	81.2%	71.9%	63.8%	62.4%	59.9%	2.0%	4.0%

(世帯類型別)

	回答数	信頼できる 友だちがい る	気軽に相談 できる友だ ちがいる	自分のこと を大切にし てくれる友 だちがいる	勉強の相談 ができる友 だちがいる	尊敬できる 友だちがい る	上記のよう な友だちは いない	無回答
ふたり親世帯	955	78.4%	70.4%	60.5%	60.6%	57.9%	2.6%	4.8%
母子世帯	112	69.6%	62.5%	50.0%	49.1%	50.0%	3.6%	8.9%
父子世帯	10	80.0%	60.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
3世代世帯	147	77.6%	68.7%	60.5%	60.5%	58.5%	2.0%	4.8%

7 自己肯定感

問 18 (小中学生・17歳)

あなたがふだん考えていることを、次の(1)～(10)について教えてください。
一番あなたの気持ちに近いものを教えてください。

(1) 自分に自信がある

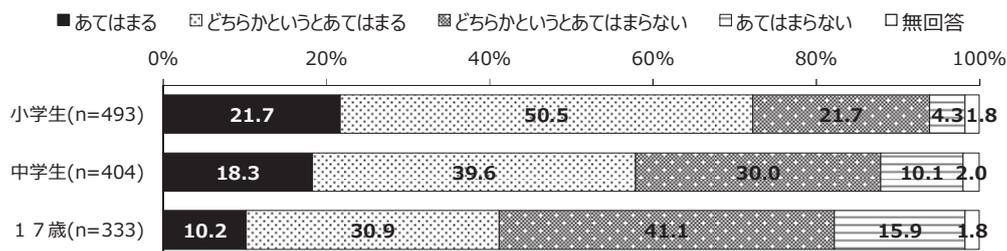
自信の有無について、『あてはまる』(「あてはまる」と「どちらかというにあてはまる」を合わせた割合)と回答した割合は全体で59.1%、小学生で72.2%、中学生で57.9%、17歳で41.1%となっている。

生活困難層の分類別にみると、『あてはまる』と回答した割合は困難度が高いほど低く、困窮層では45.8%となっている。

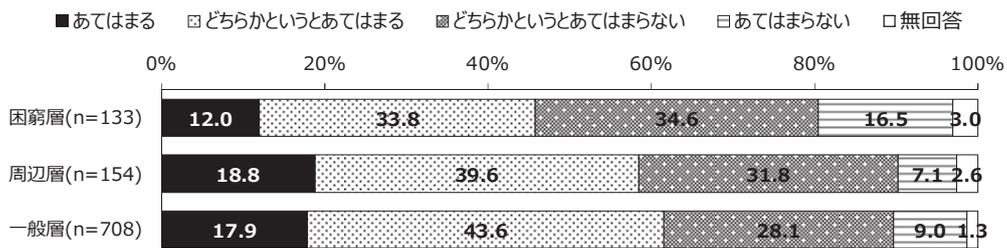
【自信の有無】



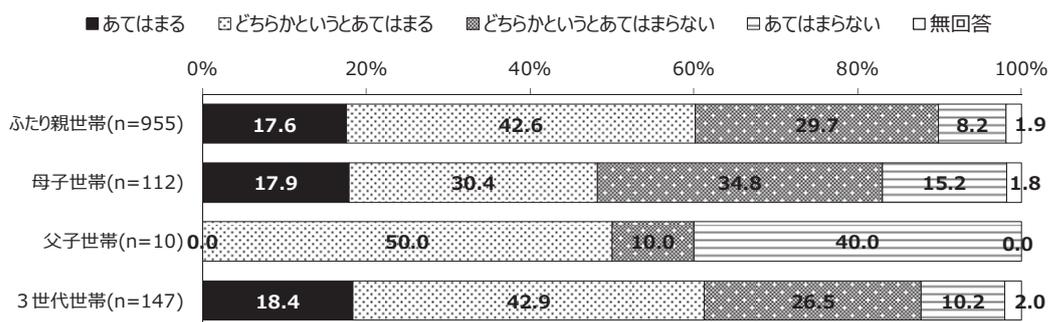
(就学状況別)



(生活困難層の分類別)



(世帯類型別)



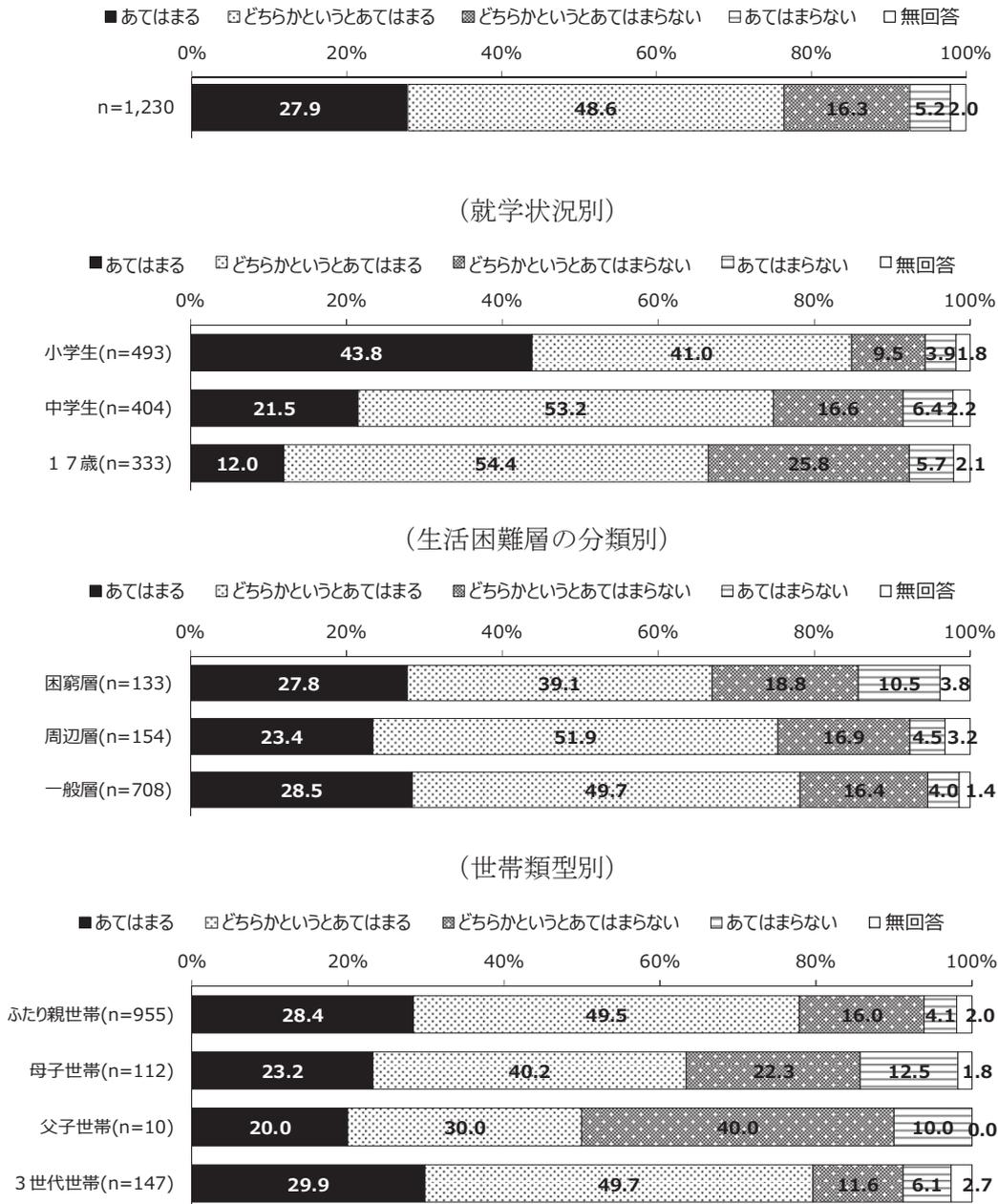
(2) 大人は信用できる

大人への信頼度について、『あてはまる』（「あてはまる」と「どちらかというにあてはまる」を合わせた割合）と回答した割合は全体で76.5%、小学生で84.8%、中学生で74.7%、17歳で66.4%となっている。

生活困難層の分類別にみると、『あてはまる』と回答した割合は困難度が高いほど低く、困窮層では66.9%となっている。

世帯類型別にみると、「あてはまらない」と回答した割合は母子世帯で12.5%と若干高くなっている。

【大人への信頼度】

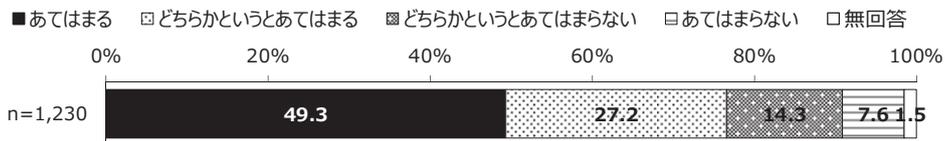


(3) 自分の将来の夢や目標がある

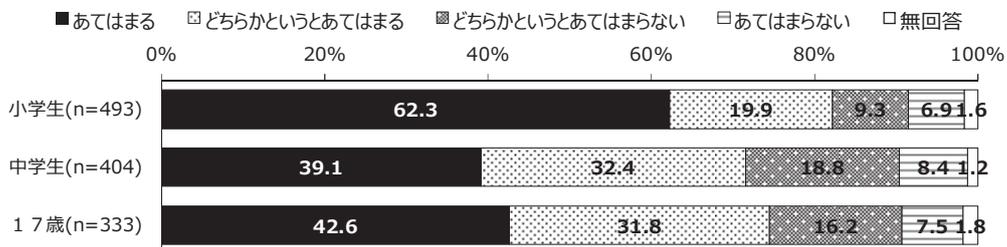
将来の夢や目標の有無について、『あてはまる』（「あてはまる」と「どちらかというにあてはまる」を合わせた割合）と回答した割合は全体で76.5%、小学生で82.2%、中学生で71.5%、17歳で74.4%となっている。

生活困難層の分類別では、大きな差はみられないが、困窮層では72.9%と若干低くなっている。

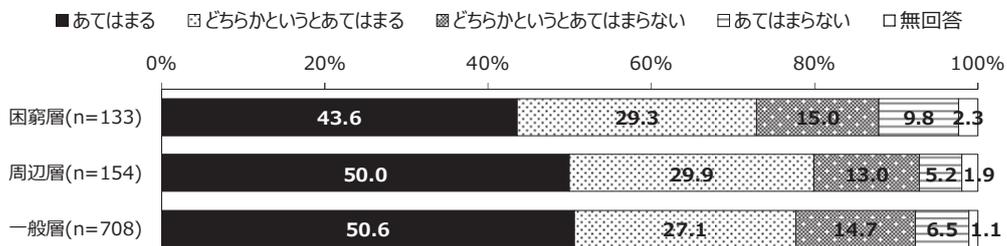
【将来の夢や目標の有無】



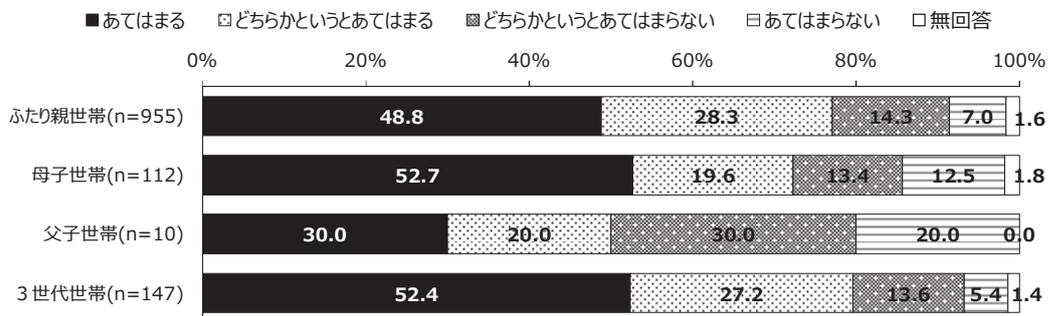
(就学状況別)



(生活困難層の分類別)



(世帯類型別)

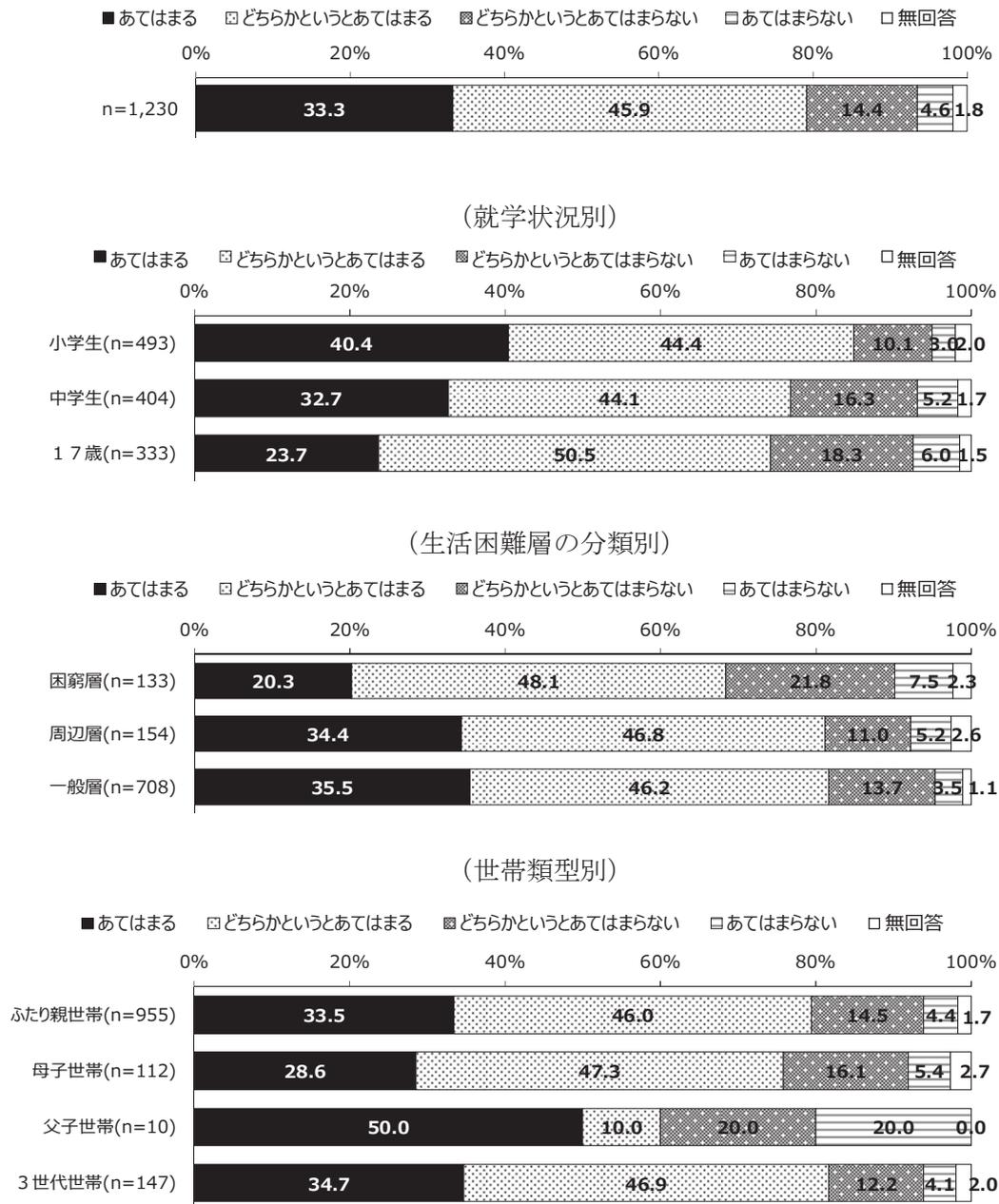


(4) 自分にはよいところがある

自分のよいところの有無について、『あてはまる』（「あてはまる」と「どちらかというにあてはまる」を合わせた割合）と回答した割合は全体で79.2%、小学生で84.8%、中学生で76.8%、17歳で74.2%となっている。

生活困難層の分類別にみると、『あてはまる』と回答した割合は困窮層で68.4%と低くなっている。

【自分のよいところの有無】



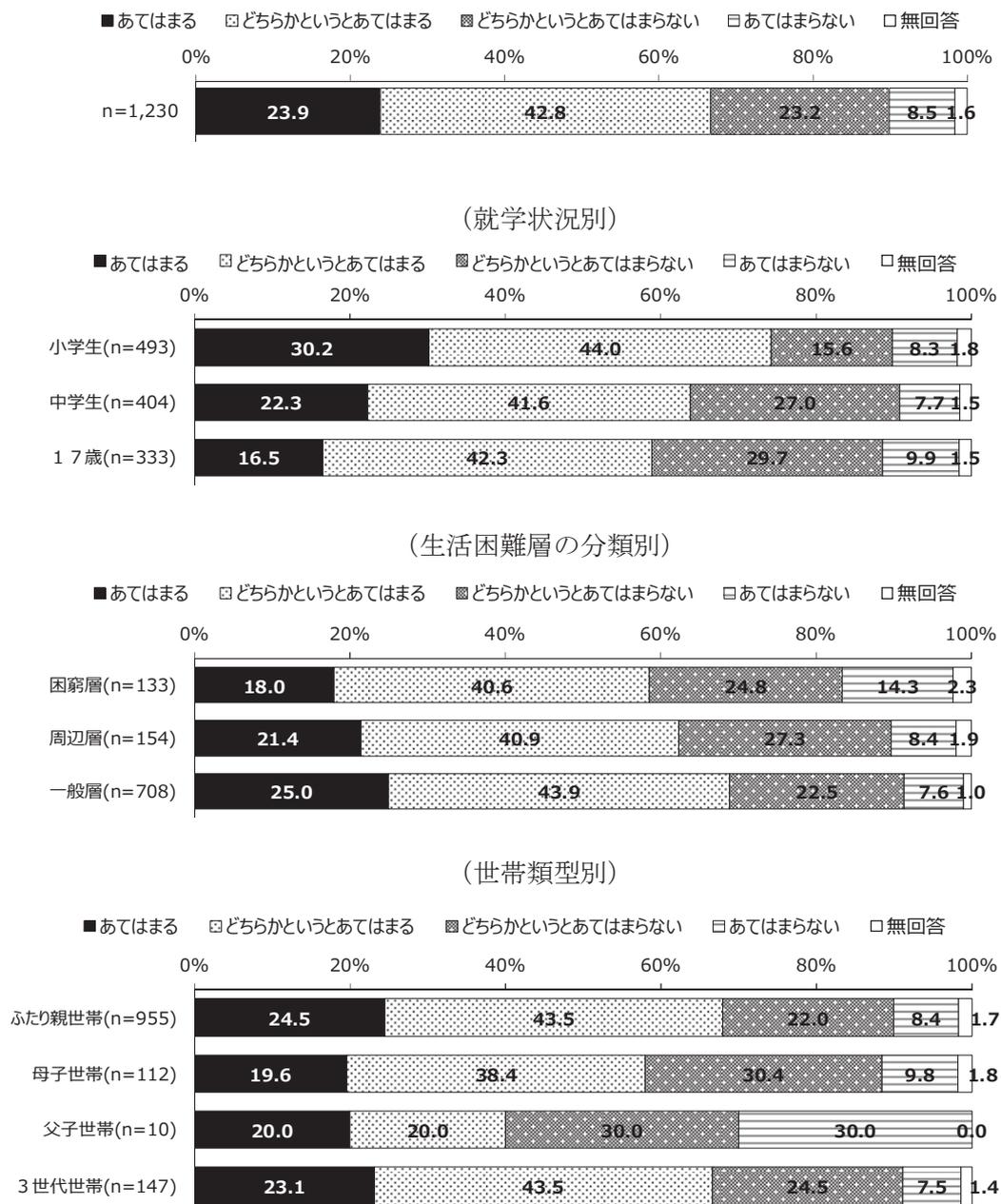
(5) 今の自分が好きだ

今の自分が好きかについて、『あてはまる』（「あてはまる」と「どちらかというにあてはまる」を合わせた割合）と回答した割合は全体で66.7%、小学生で74.2%、中学生で63.9%、17歳で58.8%となっている。

生活困難層の分類別にみると、『あてはまる』と回答した割合は困難度が高いほど低く、困窮層では58.6%となっている。

世帯類型別にみると、『あてはまる』と回答した割合は母子世帯で58.0%と低くなっている。

【今の自分が好きか】



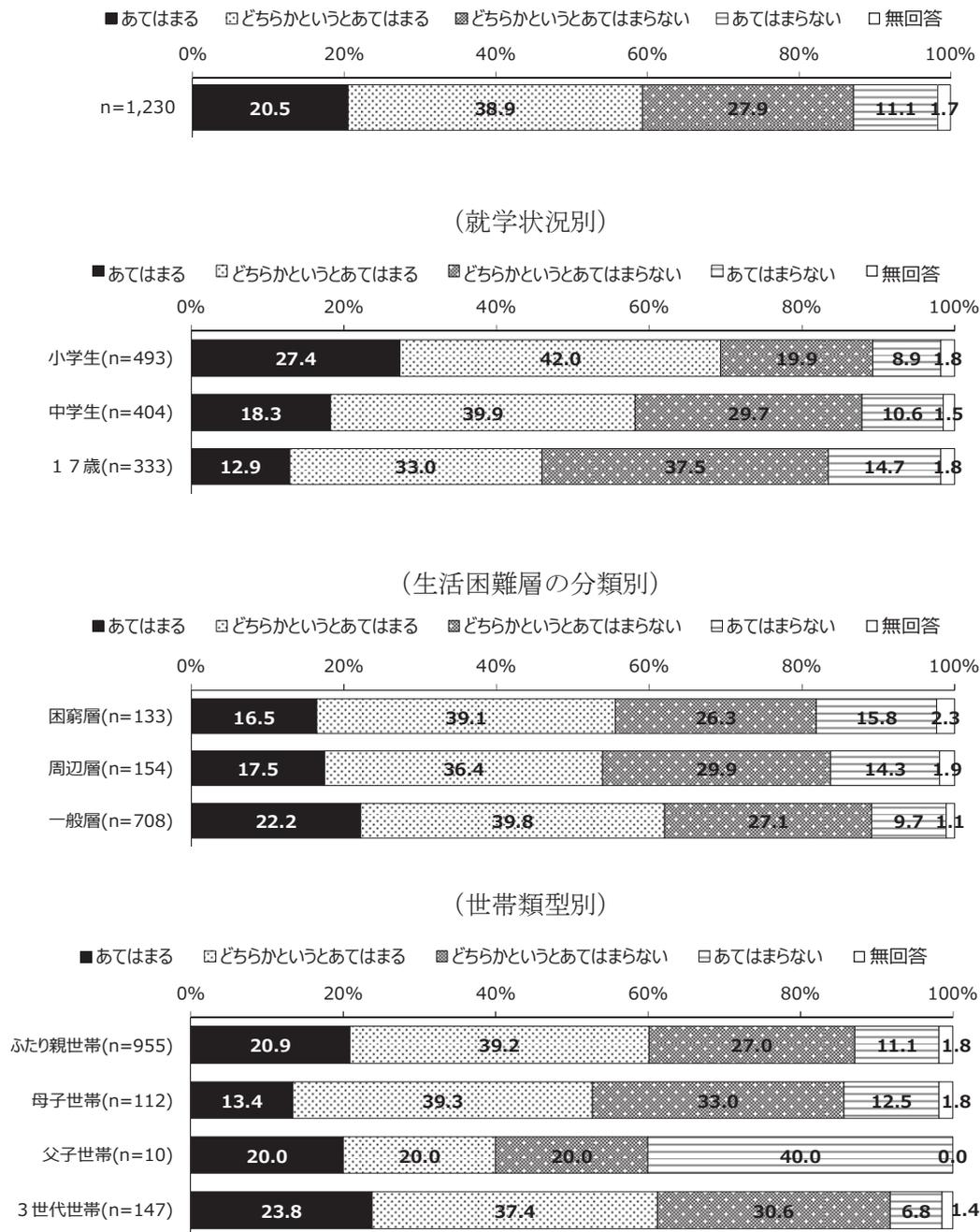
(6) 自分自身に満足している

自分自身に満足しているかについて、『あてはまる』（「あてはまる」と「どちらかというにあてはまる」を合わせた割合）と回答した割合は全体で59.4%、小学生で69.4%、中学生で58.2%、17歳で45.9%となっている。

生活困難層の分類別にみると、『あてはまる』と回答した割合は困窮層で55.6%と若干低くなっている。

世帯類型別にみると、『あてはまる』と回答した割合は母子世帯で52.7%となっている。

【自分自身に満足しているか】



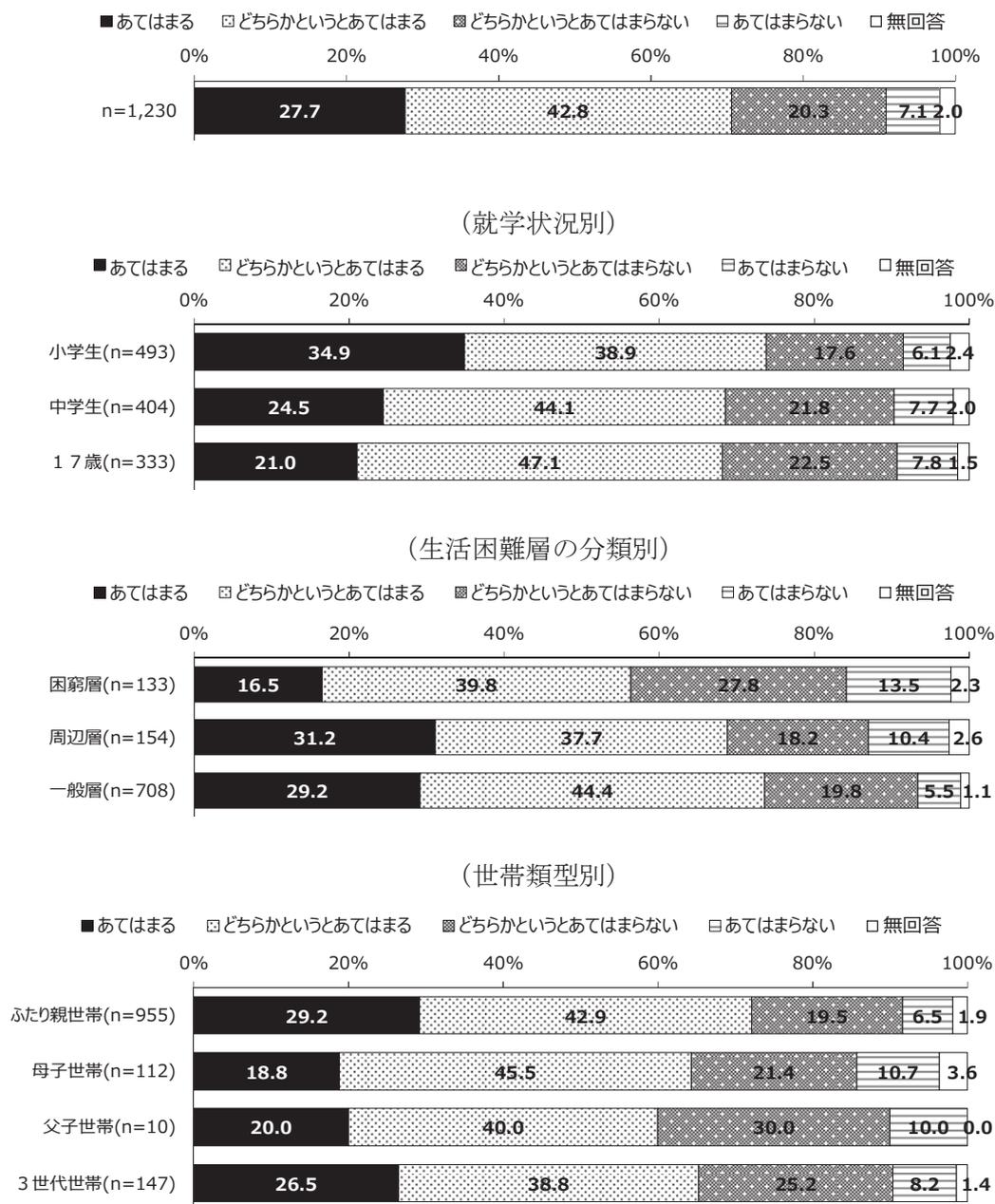
(7) 自分は人並みの能力がある

自分は人並みの能力について、『あてはまる』（「あてはまる」と「どちらかというにあてはまる」を合わせた割合）と回答した割合は全体で70.5%、小学生で73.8%、中学生で68.6%、17歳で68.1%となっている。

生活困難層の分類別にみると、『あてはまる』と回答した割合は困難度が高いほど低く、困窮層では56.3%となっている。

世帯類型別にみると、『あてはまる』と回答した割合は母子世帯で64.3%となっている。

【人並みの能力の有無】



(8) 自分はダメな人間だと思うことがある

自分はダメな人間だと思うことがあるかについて、『あてはまる』（「あてはまる」と「どちらかというあてはまる」を合わせた割合）と回答した割合は全体で 44.5%、小学生で 33.1%、中学生で 45.8%、17歳で 59.7%と年齢が上がるにつれて高くなっている。

生活困難層の分類別にみると、『あてはまる』と回答した割合は困窮層で 48.8%と若干高くなっている。

世帯類型別にみると、『あてはまる』と回答した割合は母子世帯で 53.6%と高くなっている。

【自分はダメな人間だと思うことがあるか】



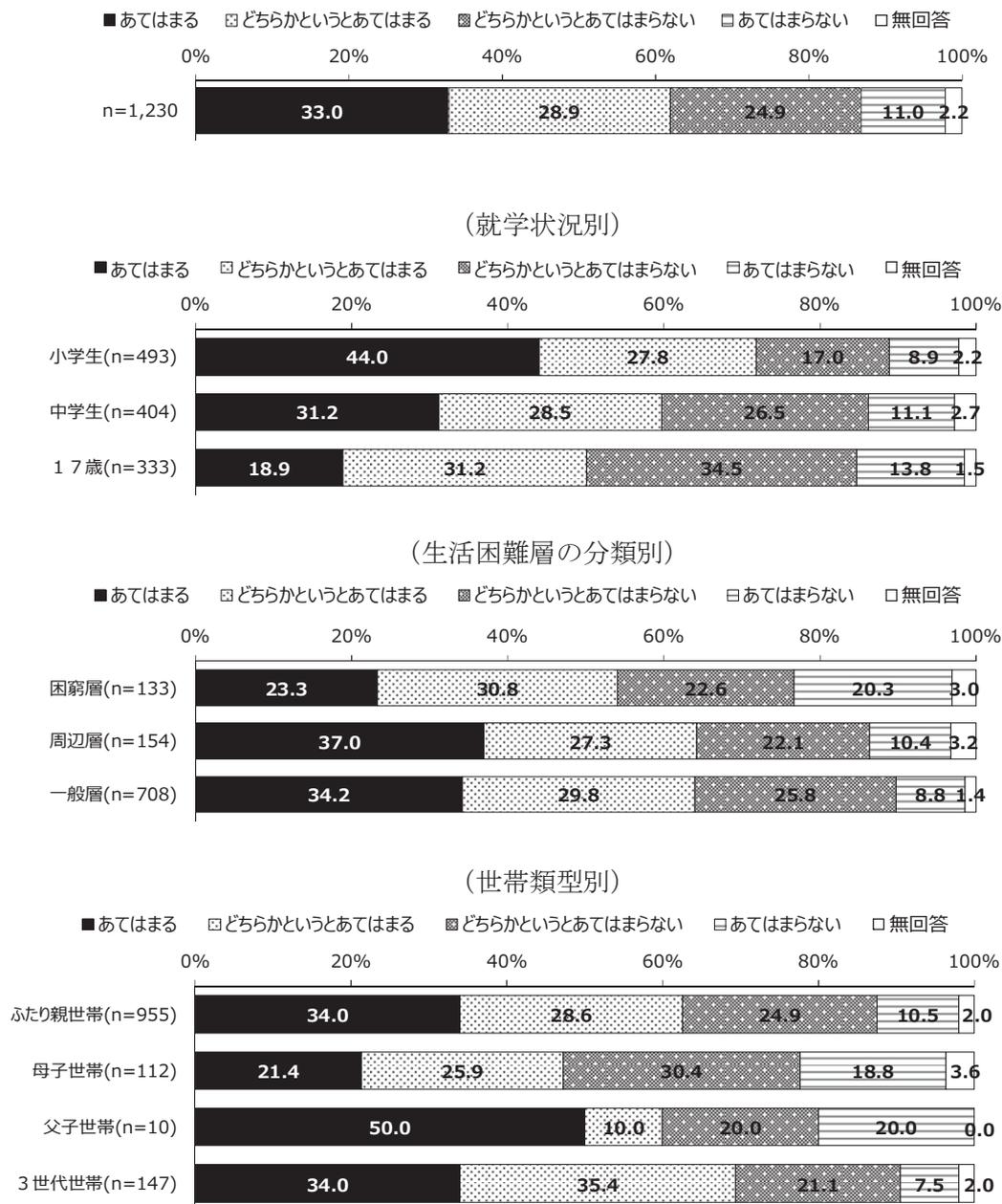
(9) 自分には誰にも負けないもの(こと)がある

誰にも負けないもの(こと)の有無について、『あてはまる』(「あてはまる」と「どちらかというあてはまる」を合わせた割合)と回答した割合は全体で61.9%、小学生で71.8%、中学生で59.7%、17歳で50.1%となっている。

生活困難層の分類別にみると、『あてはまる』と回答した割合は困窮層で54.1%と低くなっている。

世帯類型別にみると、『あてはまる』と回答した割合は母子世帯で47.3%と低くなっている。

【誰にも負けないもの(こと)の有無】



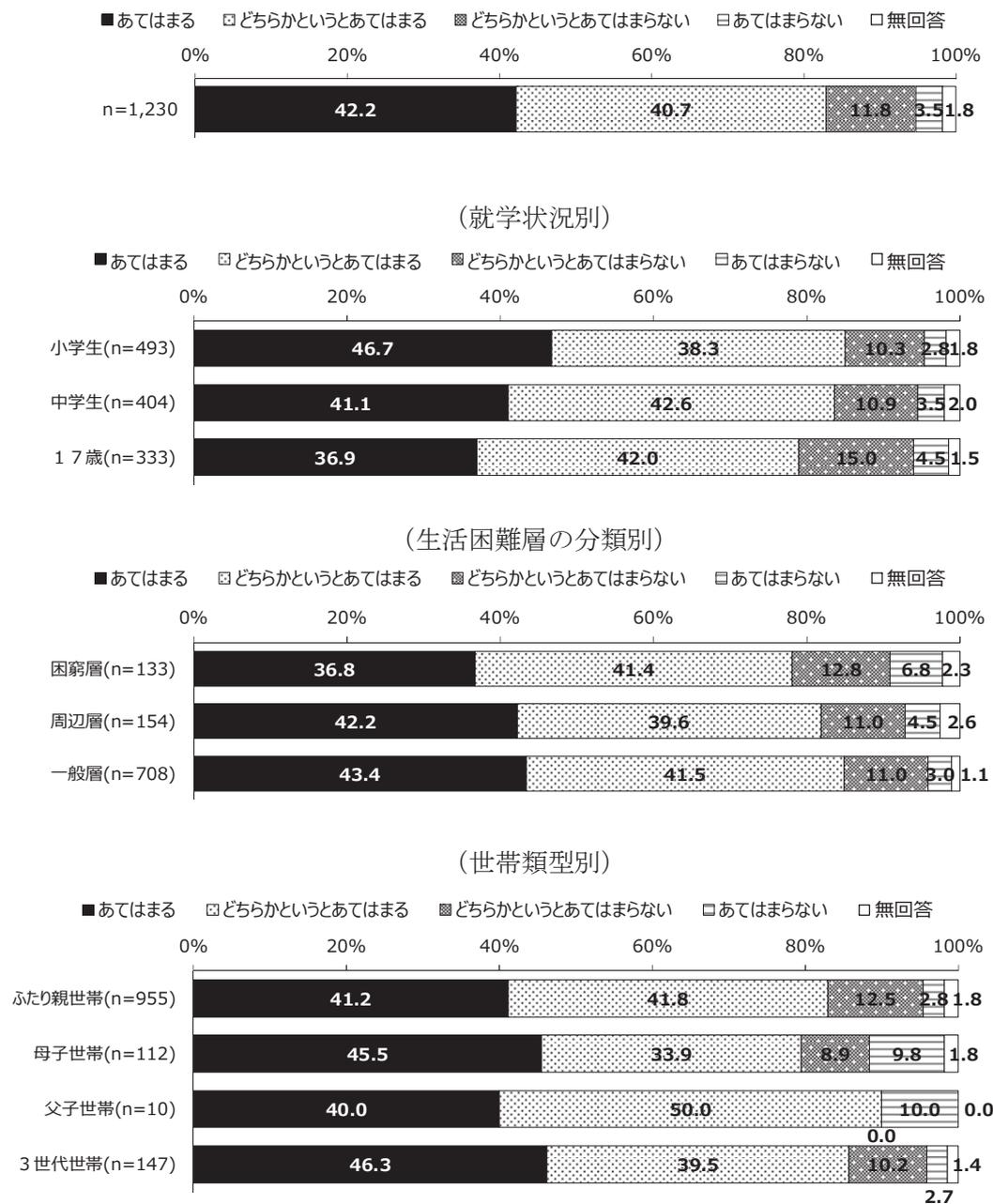
(10) 人のために力を尽くしたい

人のために力を尽くしたいと思うかについて、『あてはまる』（「あてはまる」と「どちらかというあてはまる」を合わせた割合）と回答した割合は全体で 82.9%、小学生で 85.0%、中学生で 83.7%、17歳で 78.9%となっている。

生活困難層の分類別にみると、『あてはまる』と回答した割合は困難度が高いほど低く、困窮層では 78.2%となっている。

世帯類型別にみると、『あてはまる』と回答した割合は母子家庭で 79.4%となっている。

【人のために力を尽くしたいと思うか】



V 現状と課題

1 3つの観点からみる本市の生活困難層の現状

(1) 世帯の経済状況からみた現状

困窮層を経済状況の観点からみると、家計を支えているのは全体として父親である割合が高く、世帯収入は父親の就業状況の影響を受けやすいことが想定されるが、困窮層では、父親は、一般層と比較して家計を支えている割合及び正社員である割合がともに低い。その結果として、世帯年収が300万円未満の割合が高くなっている。経済的理由で文具や教材を買えない、医療機関を受診できないこともあるようである。

また、子どもとのかかわりでは、経済的（金銭的）理由によって、レクリエーションの機会や小遣いを渡すなどの機会が得られない割合が高くなっている。

住居は持ち家の割合が低く、支援制度では、就学援助制度を利用している割合が高い。

現在の暮らしを「苦しい」と認識している割合が高いのは、上記の影響と推察される。

表 生活困難度が高い層の特徴（世帯の経済状況）

項目	生活困難度が高い層の特徴
住宅状況	持ち家の割合は低く、ひと月あたりの家賃では「1万円～3万円未満」の割合が高い
就労状況	父親が正社員である割合が低く、母親が正社員以外で働いている割合が高い
経済状況	世帯収入が年間300万円未満の割合が高い
	最も負担になっている費用は「子どもの教育費」の割合が高く、将来のための貯蓄ができていない割合が高い
	経済的理由で文具や教材を買えなかった割合が高い
	経済的理由で医療機関の受診を抑制した割合が高い
経済的理由による体験や所有物の有無	海水浴や水族館に行く、キャンプやバーベキューをする、スポーツ観戦をするなどのレクリエーションの機会が金銭的な理由で「ない」と回答した割合が高い
	毎月小遣いを渡す、習い事に通わせる、学習塾に通わせるなどの機会が「経済的にできない」割合が高い
主観的認識	現在の暮らしの状況を「苦しい」と感じている割合が高い
制度の利用状況	就学援助制度を利用している割合が高い

(2) 世帯構成員の属性・意識からみた現状

困窮層を個人の属性や意識の観点からみると、困窮層の保護者は大学卒業の割合が低く、本や新聞を読むようにすすめる、勉強を教えることを心がけている割合が低い。子どもの学習習慣が定着していないためか、勉強をまったくしない子どもの割合が高く、学校の勉強を理解できる割合が低くなっている。学校の成績も「よい」と回答する割合も低い。最終学歴を「大学・短期大学」と希望する割合が保護者、子どもともに低いのは、上記のことも影響していると推察される。

次に、健康状態についてみると、健康状態がよいとする割合は保護者、子どもともに低い。子どもに規則正しい生活習慣を身につけさせようとする割合が低く、そのためか、睡眠時間が短い子どもが多く、毎日の朝食の摂取や入浴の割合が低くなっている。毎日歯磨きをする割合も低いため、むし歯がある子どもの割合が高い。

子どもの自己肯定感についてみると、10項目について、いずれも一般層に比べて自己肯定感が低い結果となっている。特に、「自分にはよいところがある」、「自分は人並みの能力がある」の自己評価に関わる2指標、「自分には誰にも負けないもの(こと)がある」の自己主張に関する指標について、一般層と困窮層の得点差が大きくなっている。また、全項目の中で、「自分に自信がある」が最も得点が低い。

表 生活困難度が高い層の特徴（世帯構成員の属性・意識）

項目	生活困難度が高い層の特徴
保護者の最終学歴、成人前の経験	父親、母親ともに大学卒業の割合が低い
	父親、母親ともに成人前の経験について、親の離婚や経済的困窮を経験している割合が高い
子どもの学習状況・希望する最終学歴	学校がある日、ない日を問わず、勉強をまったくしない割合が高い
	学校の勉強を理解できる割合が低い
	学校の成績が「よい」割合が低い
	最終学歴を「大学・短期大学」と希望する保護者の割合が低く、また、子ども自身も「大学・短期大学」を希望する割合が低い
	自宅で勉強ができる場所を用意できる割合が低く、本や新聞を読むようにすすめる、勉強を教えることを心がけている保護者の割合が低い
健康状態	健康状態がよいとする割合は子どもも保護者自身も低い
	子どもに規則正しい生活習慣を身につけさせるよう心がけている割合が低く、毎日朝ごはんを食べさせるよう心がけている割合が低い
	睡眠時間が短い子どもの割合が高い
	朝ごはんを毎日食べる、風呂に毎日入る子どもの割合が低い
	歯磨きを毎日する子どもの割合が低く、むし歯がある割合が高い
子どもの自己肯定感	自信の有無、大人への信頼度、将来の夢や目標の有無等の10項目すべてにおいて、一般層に比べて困窮層は自己肯定感が低い傾向にある

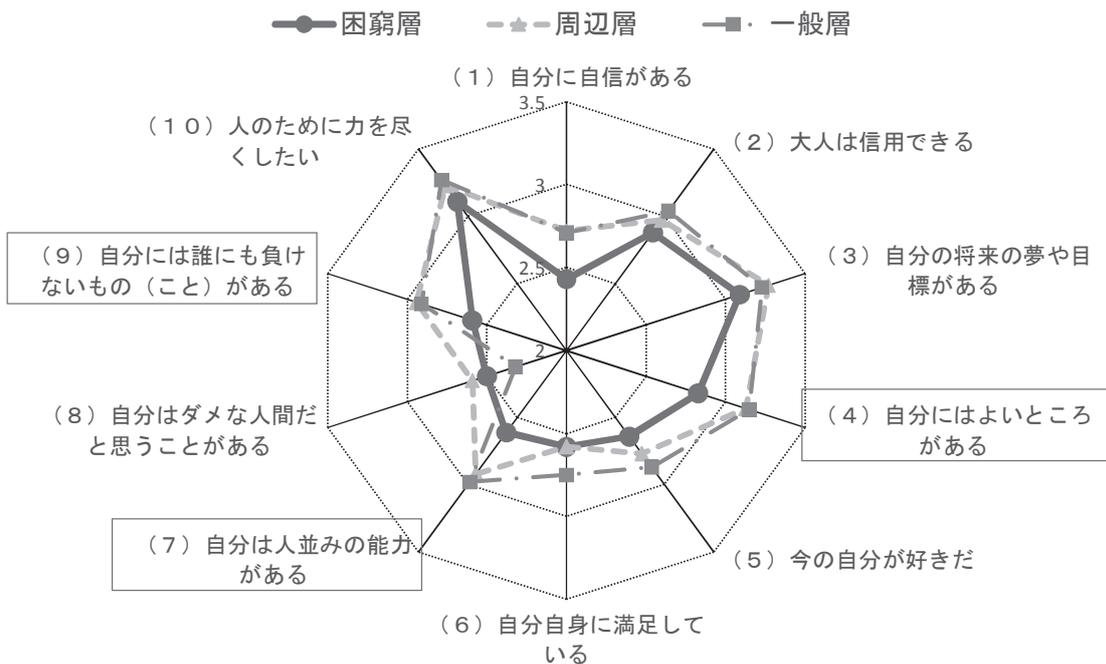


図 生活困難度別の子どもの自己肯定感の得点比較※

※「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」「どちらかというにあてはまらない」「あてはまらない」をそれぞれ4～1の4段階で得点化したもの

(3) 社会とのかかわりからみた現状

困窮層を社会とのかかわりの観点からみると、保護者は父親、母親ともに相談できる相手がいる割合が低い。また、地域とのかかわりについても、「ほとんど付き合いはない」割合が一般層に比べて高くなっている。

子どもについてみると、一般層では父親、母親に相談する割合が6割を超えているが、困窮層では5割台半ばにとどまっている。また、「誰にも相談しない」割合が1割を超えており、一般層よりも若干高くなっている。学校生活が「楽しい」子どもの割合が低く、また、「信頼できる友だちがいる」、「気軽に相談できる友だちがいる」割合が低い。

このように、困窮層では、保護者も子どもも相談相手がいる割合が低く、社会的孤立の危険性を抱えている可能性がある。

表 生活困難度が高い層の特徴（社会とのかかわり）

項目	生活困難度が高い層の特徴
相談相手の有無	父親、母親ともに心おきなく相談できる相手がいる割合が低い
	父親・母親に相談できる割合が低く、また「誰にも相談しない」子どもの割合が若干高い
保護者の地域とのかかわり	近所付き合いの程度について「ほとんど付き合いはない」とする割合が高い
子どもの学校とのかかわり	学校生活の状況について「楽しい」という子どもの割合が低い
子どもの友だちとのかかわり	「信頼できる友だちがいる」、「気軽に相談できる友だちがいる」子どもの割合が低い

2 調査結果を踏まえた今後の課題

(1) 生活支援（経済的支援）、就労支援の必要性

現在、必要としている支援については、全体では「子どもの就学費用の援助」を望む声が最も高くなっており、次いで、「病児保育の充実」、「一時的に必要となる資金の借入」となっている。困窮層では「就学費用の援助」に次いで「一時的に必要となる資金の借入」の割合が高くなっており、経済的な負担を減免する支援への期待が大きいことがうかがえる。

また、次に高いのは「就職のための支援が受けられること」である。父親、母親ともに正社員である割合が低いことから、世帯収入が低水準となっている可能性があるため、ここでは、無職からの就職支援だけでなく、非正規社員から正規社員への転換の支援の期待も込められているものと推察される。

表 現在、必要としている支援（困窮層）

順位	困窮層が必要としている支援
1位 (77.1%)	子どもの就学にかかる費用が援助されること
2位 (32.9%)	一時的に必要となる資金が借りられること
3位 (18.8%)	就職のための支援が受けられること
4位 (15.9%)	子どもが病気の際に預けることができる病児保育の充実
5位 (15.3%)	病気や障害のことなどについて専門的な支援が受けられること
5位 (15.3%)	子どものことや生活のことなどの悩みを相談できるところ

(2) 子どもの生活習慣・学習習慣改善のための支援の必要性

困窮層の家庭では、生活面や学校・学習面において、保護者が十分に関与できていない可能性がある。そのため、子どもの規則正しい生活習慣の定着に向けた働きかけや、基礎学力の定着に向けた環境づくりなどが必要である。

調査結果では、子どもが一人で食事をするような居場所の利用について、困窮層では2割近くが希望している。また、無料で勉強を教えてもらえる場所の利用については、6割近くが希望している。このことから、家庭と学校だけでなく、地域全体における子どもの育ち、学びを支援する場づくりが重要である。

(3) 相談窓口の充実、認知度向上の必要性

困窮層の家庭は、経済的な事情もあいまって、社会的なネットワークから孤立しており、心おきなく相談できる相手がいない可能性がある。そのため、自らの抱える困難について話を聴いてもらえる場所の提供や、悩みを受け入れてもらえる相談体制の充実が求められている。

調査結果では、公的相談窓口の認知度についてみると、保健所、児童相談所、こども発達センターは全体の半数を超えているものの、その他の公的相談窓口の認知度は半数以下となっており、十分には知られていない状況である。また、困窮層では、これらを含め、ほとんどの公的相談窓口の認知度が一般層に比べ低くなっている。

困窮層が必要としている支援にかかわる相談窓口の認知度を向上させるとともに、家庭、学校、地域の多岐にわたる課題を包括的に支援する体制づくりや地域のネットワークの構築が求められる。

<参考資料：調査票>

あなたの声を市に届けてください！

下関市子どもたちの生活実態調査

< 調査ご協力のお願い >

皆さまには、平素より下関市政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。さて、下関市では、下関市子ども・子育て支援事業計画及び下関市次世代育成支援行動計画によりさまざまな子育て支援施策を実施しております。

このたび、今後の子育て支援施策に役立てるために、下関市の将来を担う子どもたちの生活の実態を把握することを目的に、調査を実施することにいたしました。

この調査は、5歳児（年長のお子さん）、小学校5年生、中学校2年生及び17歳の子どもがいらっしゃるご家庭を対象に無作為抽出し、ご協力をお願いするものです。

回答いただいた内容は、下関市の子育て支援施策の検討のみに利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他にもれたり、他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

つきましては、ご多忙のこととは存じますが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成29年11月 下関市

【ご記入にあたってのお願い】

- ・この調査は、平成29年11月1日現在の状況について、あて名のお子さんの保護者の方が記入してください。
- ・この調査で「お子さん」とは、**あて名のお子さん**のことです。「お子さん」と書かれた質問には、あて名のお子さんについてのみお答えください。
- ・質問文を読み、あてはまる選択肢の番号を○で囲んでください。
- ・「○は1つ」「あてはまる番号すべてに○」などの指示にしたがって回答してください。
- ・質問によっては、（ ）内に人数などを直接記入するものがありますのでご注意ください。
- ・その他の（ ）内や自由意見欄には、具体的に考えや意見を記入してください。
- ・記入は、黒または青のボールペンまたは鉛筆でお願いします。
- ・答えたくない質問やあてはまらない質問には、答えなくても結構です。
- ・お子さんには保護者の回答を見せないでください。また、お子さんの回答を見ないでください。
- ・回答後は、保護者とお子さん（5歳児を除く）の調査票を同封の返信用封筒に入れ、**平成29年12月11日(月)**までにポストに投函してください。（切手は不要です。）

下関市こども未来部こども育成課

〒750-8521 下関市南部町1-1

電話 231-1722

問4 世帯員をすべて選んでください。【お子さんからみた続柄で、あてはまる番号すべてに○】

1. お子さん	5. 祖父・祖母
2. 父親	6. おじ・おばなど親戚
3. 母親	7. その他の人 ()
4. 兄弟姉妹	

問5 あなたの世帯は、「ひとり親世帯」に該当しますか。【○は1つ】

※本調査で「ひとり親世帯」とは、死別、離婚、未婚、別居などにより、現に配偶者のいない男性または女性が、18歳未満のお子さんを育てている世帯とします。

※離婚にむけて具体的な手続きが進んでいる場合などは「ひとり親世帯」に該当するものとします。

1. 該当しない	4. 該当する（未婚）
2. 該当する（死別）	5. 該当する（別居）
3. 該当する（離婚または離婚に向けて協議中）	6. 該当する（その他：)

問6 あなたの住居は、次のどれにあてはまりますか。【○は1つ】

また、「2」～「5」と答えた方は、ひと月あたりの家賃もお答えください。

1. 持ち家（一戸建て・マンションを含む。親・きょうだいの名義を含む。）	
2. 県営・市営の住宅	ひと月あたりの家賃 -----> <input type="text"/> 円
3. 民間の賃貸住宅	
4. 社宅	
5. その他 ()	

お子さんのことについておたずねします

問7 お子さんが通ったことのある（通っている）教育機関をお答えください。【○はいくつでも】

1. 保育所	5. 中学校（公立）	9. その他 ()
2. 幼稚園	6. 中学校（私立）	10. いずれも通っていない
3. 認定子ども園	7. 高校（公立）	
4. 小学校	8. 高校（私立）	

問8 お子さんの現在の健康状態はいかがですか。【○は1つ】

1. よい	4. あまりよくない
2. まあよい	5. よくない
3. 普通	6. わからない

問9 お子さんは、療育手帳や身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。

【○は1つ】

1. 持っている	2. 持っていない
----------	-----------

問10 お子さんの、ふだん（月曜日～金曜日）の起床時間・就寝時間をお答えください。

※24時間制でお答えください。（例：夜10時に就寝→22時00分と記入）

起床時間 時 分ごろ 就寝時間 時 分ごろ

問 11 次の①～④について、お子さんの生活習慣をお答えください。【それぞれ○は1つ】

	毎日・ほぼ 毎日	週に 4～5日	週に 2～3日	週に 1日程度	ほとんど しない
①朝ごはんを食べる	5	4	3	2	1
②晩ごはんを食べる	5	4	3	2	1
③お風呂に入る	5	4	3	2	1
④歯磨きをする	5	4	3	2	1

問 12 お子さんは朝食/夕食を子どもたちだけで食べたり、あるいは、一人で食べたりすることがどのくらいありますか。【それぞれ○は1つ】

	よくある	ときどきある	ほとんどない
朝食	3	2	1
夕食	3	2	1

《問 12 で「3. よくある」「2. ときどきある」に○をつけた方におたずねします。》

問 12-1 子どもたちだけ、あるいは、一人で食事をするところがないような居場所があれば、利用させたいと思いますか。【○は1つ】

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 利用させたい | 3. どちらかという利用させたくない |
| 2. どちらかという利用させたい | 4. 利用させたくない |

問 13 過去1年間に、お子さんを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありますか。【○は1つ】

1. あった	2. なかった
--------	---------

《問 13 で「1. あった」に○をつけた方におたずねします。》

問 13-1 その理由は、何ですか。最も近いものに○をつけてください。【○は1つ】

- | |
|---|
| 1. 公的医療保険に加入しておらず、医療費の支払いができなかったため |
| 2. 公的医療保険に加入していたが、医療機関で自己負担金を支払うことができないと思ったため |
| 3. 子ども本人が受診したがらなかったため |
| 4. 医療機関までの距離が遠く、通院することが困難であったため |
| 5. 多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため |
| 6. 最初は受診させようと思ったが、子どもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため |
| 7. 自分の健康状態が悪かったため |
| 8. その他 () |

《お子さんが小学生・中学生・17歳の保護者の方におたずねします》

問 14 お子さんは不登校になったことはありますか。【○は1つ】

1. ない	2. ある（現在）	3. ある（過去）
-------	-----------	-----------

問 15 お子さんの学校の成績はいかがですか。【○は1つ】

1. よい	4. やや遅れている
2. まあよい	5. かなり遅れている
3. 普通	6. わからない

《すべての保護者の方におたずねします》

問 16 あなたのご家庭では、お子さんと次の①～⑥のようなことをすることがありますか。

【それぞれ、あてはまる番号1つに○】

	ほぼ 毎日	週に 3～4回	週に 1～2回	月に 1～2回	めった にない
①保育所・幼稚園・認定こども園、学校の生活の話をする	5	4	3	2	1
②政治経済・社会問題等のニュースの話をする	5	4	3	2	1
③テレビ番組（ニュースを除く）の話をする	5	4	3	2	1
④一緒に料理をする	5	4	3	2	1
⑤一緒に外出をする	5	4	3	2	1
⑥一緒に遊ぶ	5	4	3	2	1

問 17 あなたのご家庭では、お子さんと次の①～⑤のような体験をしましたか。

【それぞれ、あてはまる番号1つに○】

	ある	ない		
		金銭的な 理由で	時間の 制約で	その他の 理由で
①海水浴に行く	4	3	2	1
②水族館・博物館・美術館などに行く	4	3	2	1
③キャンプやバーベキューをする	4	3	2	1
④スポーツ観戦や劇場に行く	4	3	2	1
⑤遊園地やテーマパークに行く	4	3	2	1

問 18 あなたのご家庭では、お子さんに次の①～⑪のことをしていますか。それぞれ、「1 している」「2 していない、したくない（方針でしない）」「3 していない、経済的にできない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。【それぞれ、あてはまる番号1つに○】

	している	していない	
		したくない （方針でしない）	経済的に できない
①毎月お小遣いを渡す	3	2	1
②毎年新しい洋服・靴を買う	3	2	1
③習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる	3	2	1
④学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）	3	2	1
⑤お誕生日のお祝いをする	3	2	1
⑥1年に1回くらい家族旅行に行く	3	2	1
⑦クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる	3	2	1
⑧子どもの学校行事などへ親が参加する	3	2	1
⑨子どもの年齢に合った本を購入する	3	2	1
⑩子ども用のスポーツ用品・おもちゃを購入する	3	2	1
⑪子どもが自宅で宿題（勉強）をすることができる場所を用意する	3	2	1

問 19 次の①～⑤について、お子さんとの関わりの中で家庭で心がけていることがありますか。

【それぞれ〇は1つ】

	大変 心がけて いる	まあまあ 心がけて いる	あまり 心がけて いない	まったく 心がけて いない
①規則正しい生活習慣を身につけさせる	4	3	2	1
②毎日、朝ごはんを食べさせる	4	3	2	1
③本や新聞を読むようにすすめる	4	3	2	1
④将来や進路についての話をする	4	3	2	1
⑤勉強を教える	4	3	2	1

問 20 あなたは、お子さんの進学について、どこまで希望されていますか。(希望されていきましたか。)

【〇は1つ】

1. 中学校	4. 大学院
2. 高校	5. 専門学校・高等専門学校
3. 大学・短期大学	6. その他 ()
	7. わからない

↓

《問 20 で「1」～「6」に〇をつけた方におたずねします。》

問 20-1 あなたは、お子さんが問 20 の希望通りの学校まで進むことになると思いますか。

(希望通りの学校に進まれましたか。【〇は1つ】)

1. 思う (進んだ)	2. 思わない (進まなかった)	3. わからない
-------------	------------------	----------

《問 20-1 で「2. 思わない (進まなかった)」に〇をつけた方におたずねします。》

→ 問 20-2 その理由について教えてください。【あてはまる番号すべてに〇】

1. お子さんの希望と異なるから	4. 勉強のサポートができないから
2. お子さんの学力から考えて	5. その他 ()
3. 経済的な余裕がないから	

問 21 自宅や学校以外の場所で、無料で、お子さんが大人や大学生のボランティアなどから教えてもらいながら勉強ができる場所があったら利用したいと思いますか。【〇は1つ】

1. 利用したい	3. どちらかという利用したくない
2. どちらかという利用したい	4. 利用したくない

↓

《問 21 で「1. 利用したい」「2. どちらかという利用したい」に〇をつけた方におたずねします。》

問 21-1 その場所は、どこにあれば利用したいと思いますか。【〇は1つ】

1. 住んでいる中学校区内	3. 下関市内ならどこでも
2. となりの中学校区内程度まで	4. その他 ()

問 21-2 その場所は、どのくらい利用したいと思いますか。【○は1つ】

1. 毎日	3. 週に1~2回程度
2. 週に3~5回程度	4. その他 ()

問 21-3 その場所は、どの時間帯に利用したいと思いますか。【あてはまる番号すべてに○】

1. 平日の学校が終わってから 18 時まで	3. 学校が休みの日の午前
2. 平日の 18 時から 20 時まで	4. 学校が休みの日の午後 (18 時まで)
	5. 学校が休みの日の 18 時から 20 時まで

お子さんのお母さん、お父さんについておたずねします

※以下の問では、ひとり親の場合はあてはまるもののみ回答してください。

問 22 お子さんの親の最終学歴について教えてください。【それぞれ○は1つ】

父親	母親
1. 中学校卒業	1. 中学校卒業
2. 高等学校卒業	2. 高等学校卒業
3. 高専、短大、専門学校等卒業	3. 高専、短大、専門学校等卒業
4. 大学卒業	4. 大学卒業
5. 大学院修了	5. 大学院修了
6. その他 ()	6. その他 ()

問 23 お子さんの親の現在の就業状況についておたずねします。【それぞれ○は1つ】

※現在、育児休業などで休業中の方は、復職するときの仕事の番号を選んでください。

父親	母親
1. 勤め (正社員)	1. 勤め (正社員)
2. 勤め (正社員以外)	2. 勤め (正社員以外)
3. 勤め (正社員以外で2か所以上に勤務)	3. 勤め (正社員以外で2か所以上に勤務)
4. 自営業・家業	4. 自営業・家業
5. その他の就業形態 ()	5. その他の就業形態 ()
6. 仕事をさがしている	6. 仕事をさがしている
7. 仕事をさがしていない	7. 仕事をさがしていない

《問 23 で「1」~「5」と答えた方におたずねします。》

問 23-2 へ

問 23-1 昨年1年間 (平成 28 年 1 月 1 日~12 月 31 日) のお仕事からの収入 (税込) は、およそいくらですか。※収入なしの場合には、0 をご記入ください。

【それぞれ枠内に数字で回答してください】

父親	母親								
税込 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> </table> 万円程度 (右づめでご記入ください)					税込 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> </table> 万円程度 (右づめでご記入ください)				

問 29 あなたは、近所の人との程度付き合いがありますか。【〇は1つ】

1. 何か困った時に助け合う人がいる	4. あいさつをする程度の人しかいない
2. お互いに訪問し合う程度の人がいる	5. ほとんど付き合いはない
3. 立ち話をする程度の人がいる	

世帯の経済状況についておたずねします

問 30 あなたの世帯で収入のある人の人数を教えてください。

人

問 31 あなたの世帯で主に家計を支えている方はどなたですか。お子さんからみた続柄で、回答してください。【〇は1つ】

1. 父親	4. 兄・姉
2. 母親	5. おじ・おばなどの親戚
3. 祖父・祖母	6. その他の人 ()

《問 31 で「3. 祖父・祖母」「4. 兄・姉」「5. おじ・おばなどの親戚」「6. その他の人」と答えた方におたずねします。》

問 31-1 その方の就業状況について教えてください。【〇は1つ】

1. 勤め（正社員）	4. その他の就業形態 ()
2. 勤め（正社員以外）	5. 仕事をしていない
3. 自営業・家業	(年金、家賃、株式運用などの収入等がある)

問 32 昨年1年間（平成 28 年 1 月 1 日～12 月 31 日）のあなたの世帯員全員の人数と、その年間収入（税込）※の合計額は、およそいくらでしたか。【枠内に数字で回答してください】

世帯員 人の合計の年間収入（税込） 万円
 （右づめでご記入ください）

※ここでいう年間収入とは、働いて得た給料（パート、アルバイトを含む）、事業収入（自営業等）、農業収入、不動産収入、利子・配当金、個人年金、仕送りや元配偶者からの養育費を含みます。複数の収入源がある場合は、合計値（合計額）を記入してください。

例) 父親、母親、長男（大学生）、長女（小学生）、祖父の5人世帯のケース

父親の給与収入が550万、母親のパート収入が93万、長男（大学生）のアルバイト収入が68万、祖父の年金収入137万とすると、 $550 + 93 + 68 + 137 = 848$ 万

回答欄への記入例 → 世帯員 人の合計の年間収入（税込） 万円

問 37 あなたの世帯では、昨年 1 年間（平成 28 年 1 月 1 日～12 月 31 日）に、以下の手当等を受給して
いましたか。【あてはまる番号すべてに○】

- | | |
|----------------|------------------------|
| 1. 児童手当 | 6. 公的年金（老齢年金） |
| 2. 就学援助制度 ※1 | 7. 公的年金（遺族年金、障害年金） |
| 3. 児童扶養手当 ※2 | 8. 雇用保険（失業保険） |
| 4. 障害や難病の手当 ※3 | 9. 離婚後の配偶者からの養育費 |
| 5. 生活保護 | 10. 親・親族からの仕送り |
| | 11. 1～10 のいずれにもあてはまらない |

※ 1 「就学援助制度」とは、経済的な理由により、就学が困難と認められる児童生徒に対して、学用品費などの費用の一部を援助する制度です。

※ 2 「児童扶養手当」とは、母又は父と生計を共にしていない児童（18 歳に達する日以後の最初の 3 月 31 日までの間にある児童。障害のある児童の場合は 20 歳未満）を養育しているひとり親家庭の母又は父等に支給される手当です。15 歳までを対象とした「児童手当」ではありません。

※ 3 障害や難病を対象とした手当には、特別児童扶養手当、特別障害者手当等があります。

問 38 あなたは次の公的相談窓口を知っていますか。【あてはまる番号すべてに○】

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1. 保健所 | 8. 市民相談所（法律相談・一般相談） |
| 2. 児童相談所 | 9. 消費生活センター |
| 3. 家庭児童相談室（市役所内） | 10. 生活サポートセンター |
| 4. 教育相談室・いじめテレホン・ヤングテレホン | 11. 総合労働相談コーナー |
| 5. 障害者生活支援センター | 12. 地域産業保健センター |
| 6. こども発達センター | 13. 知っているものはない |
| 7. 地域包括支援センター | |

問 39 毎日の生活で感じていることを自由に書いてください。

保護者のみなさまへの質問は以上です。調査にご協力いただきありがとうございました。

お子さん（5 歳児を除く）用の調査票とあわせて返送用封筒に入れて、

平成 29 年 12 月 11 日（月）までにポストに投函してください。

問5 次の①～④について、あなたはどのくらいしていますか。【それぞれ〇は1つ】

	毎日・ほぼ毎日 まいにち 毎日	週に4～5回 しゅう にち 4～5日	週に2～3回 しゅう にち 2～3日	週に1日程度 しゅう にち にちていど 1日程度	ほとんどしない
①朝ごはんを食べる あさ ごはん た を た べ る	5	4	3	2	1
②晩ごはんを食べる ばん ごはん た を た べ る	5	4	3	2	1
③お風呂にはいる お ふ ろ に は い る	5	4	3	2	1
④歯みがきをする は み が き を す る	5	4	3	2	1

問6 あなたは、自分の健康状態についてどう感じていますか。【〇は1つ】

1. よい	4. あまりよくない
2. まあよい	5. よくない
3. ふうふう	6. わからない

問7 あなたは、現在むし歯がありますか。【〇は1つ】

1. ある（治療中） ちりょうちゆう	3. ない（あつたが治療済み） ちりょうす
2. ある（治療していない） ちりょう	4. ない

問8 あなたは、今の学校での生活が楽しいですか。【〇は1つ】

1. 楽しい たの	4. 楽しくない たの
2. まあまあ楽しい たの	5. どちらでもない
3. あまり楽しくない たの	6. 学校に通っていない がっこうがよ

《問8で「6. 学校に通っていない」に〇をつけた方におたずねします。》

問8-1 学校に通っていないのは、なぜですか。【あてはまる番号すべてに〇】

1. 友人との関係がうまくいっていないから ゆうじんかんけい	5. 家庭の経済的理由で通えないから かていけいざいてきりゆうかよ
2. 先生との関係がうまくいっていないから せんせいかんけい	6. 病気や怪我で通えないから びょうきけががよ
3. 勉強がわからないから べんきょう	7. その他（ た
4. 学校生活全般になじめないから がっこうせいかつぜんぱん	8. 特に理由はない とくりゆう

問8-1を答えた方は、次は問14に進んでください

問9 あなたは、通っている学校などに遅刻することがありますか。【〇は1つ】

1. 毎日・ほぼ毎日遅刻する まいにちまいにちちこく	4. 月に1回程度ある つきかいていど
2. 週に2～3回ある しゅうかい	5. 遅刻はしない ちこく
3. 週に1回程度ある しゅうかいていど	

問10 あなたは、おうちの大人の人に学校のできごとを話すことがどれくらいありますか。

【〇は1つ】

1. 毎日・ほぼ毎日 まいにちまいにち	5. 月に1～2回 つきかに
2. 週に4～5回 しゅうかい	6. ほとんどない
3. 週に2～3回 しゅうかい	7. まったくない
4. 週に1回ぐらい しゅうかい	

問11 あなたは、学校がある日、授業時間以外に1日あたりどれくらい勉強をしますか。

(塾などの時間も含む)【〇は1つ】

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. まったくしない | 4. 1時間～2時間未満 |
| 2. 30分より少ない | 5. 2時間～3時間未満 |
| 3. 30分～1時間未満 | 6. 3時間以上 |

問12 あなたは、学校がない日、1日あたりどれくらい勉強をしますか。(塾などの時間も含む)

【〇は1つ】

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. まったくしない | 4. 1時間～2時間未満 |
| 2. 30分より少ない | 5. 2時間～3時間未満 |
| 3. 30分～1時間未満 | 6. 3時間以上 |

問13 あなたは、学校の勉強がわかりますか。一番あなたの気持ちに近いものを答えてください。

【〇は1つ】

- | | |
|------------|--------------|
| 1. よくわかる | 3. あまりわからない |
| 2. だいたいわかる | 4. ほとんどわからない |
| | 5. どちらでもない |

問14 あなたは、将来どの学校まで行きたいと思いますか。(行っている場合を含みます。)

【〇は1つ】

- | | |
|------------|------------------------|
| 1. 高校 | 5. 専門学校(美容師や調理師など仕事の仕方 |
| 2. 高等専門学校 | や技術を学ぶための学校など) |
| 3. 大学・短期大学 | 6. 考えたことがない |
| 4. 大学院 | 7. その他() |
| | 8. わからない |

問15 今、あなたは、いやなことや悩んでいることがありますか。【あてはまる番号すべてに〇】

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. おうちのこと | 6. 好きな人のこと |
| 2. 学校や勉強のこと | 7. 進学・進路のこと |
| 3. クラブ活動のこと | 8. その他のこと |
| 4. 自分のこと(外見や体型など) | () |
| 5. 友だちのこと | 9. いやなことや悩んでいることがない |

問16 あなたは、いやなことや悩んでいることがあるとき、だれに相談しますか。

【あてはまる番号すべてに〇】

- | | |
|-----------------------------|------------------------|
| 1. お父さん・お母さん | 9. 近所の人 |
| 2. 兄弟姉妹 | 10. 子ども専用の電話相談 |
| 3. おじいさん・おばあさん・親せき | 11. インターネットなどを通じて知りあった |
| 4. 学校の友だち | 直接会ったことのない人 |
| 5. 学校以外の友だち | 12. その他の人() |
| 6. 学校の先生 | 13. だれにも相談しない |
| 7. スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー | 14. 相談する人がいない |
| 8. 学校以外(習い事等)の先生 | |

問17 あなたには、次のような友だちが周りにいますか。【あてはまる番号すべてに○】

1. 信頼できる友だちがいる	4. 自分のことを大切にしてくれる友だちがいる
2. 気軽に相談できる友だちがいる	5. 勉強の相談ができる友だちがいる
3. 尊敬できる友だちがいる	6. 1～5のような友だちはいない

問18 あなたがふだん考えていることを、次の(1)～(10)について教えてください。

一番あなたの気持ちに近いものを答えてください。【○はそれぞれ1つ】

	あてはまる	どちらかという あてはまる	どちらかという あてはまらない	あてはまらない
(1) 自分に自信がある	4	3	2	1
(2) 大人は信用できる	4	3	2	1
(3) 自分の将来の夢や目標がある	4	3	2	1
(4) 自分にはよいところがある	4	3	2	1
(5) 今の自分が好きだ	4	3	2	1
(6) 自分自身に満足している	4	3	2	1
(7) 自分には人並みの能力がある	4	3	2	1
(8) 自分はダメな人間だと思うことがある	4	3	2	1
(9) 自分には誰にも負けないもの(こと)がある	4	3	2	1
(10) 人のために力を尽くしたい	4	3	2	1

問19 毎日の生活で感じていることを自由に書いてください。(例えば、楽しいこと、不安に感じていることなど)

質問はこれで終わりです。アンケートにご協力いただきありがとうございました。

このアンケートは、おうちの人にわたしてください。

名 称 下関市子どもの生活実態調査
発 行 下関市こども未来部こども育成課
所 在 地 〒750-8521 下関市南部町 1 番 1 号
電 話 083-231-1722
F A X 082-231-1995
発行年月 平成 30 年 3 月

